



(仮称) 盛岡市 中心市街地 デザイン戦略 (素案)

令和7年7月 盛岡市



※まちづくりに関わる地域の方々へのヒアリングや市の各種個別計画をもとに現時点での調整案をまとめたものであり、今後、地域や関係機関等との意見交換を通して内容は変更の可能性があります。



目次（案）

1. 盛岡市中心市街地デザイン戦略とは

- (1) 問題意識 - なぜ今「中心市街地」に「デザイン戦略」が必要か？
- (2) デザイン戦略とは？
- (3) 中心市街地デザイン戦略の位置付け
- (4) 中心市街地デザイン戦略の対象区域
- (5) 中心市街地デザイン戦略の役割
- (6) 中心市街地デザイン戦略の構成と策定の流れ

2. 盛岡市中心市街地の特徴と課題

- (1) 盛岡市中心市街地全体の特徴と課題
- (2) エリアごとの特徴と課題
 - ～駅前通りエリア～
 - ～北上川エリア～
 - ～材木町エリア～
 - ～開運橋エリア～
 - ～大通商店街エリア～
 - ～菜園通りエリア～
 - ～映画館通りエリア～
 - ～内丸・中央通りエリア～
 - ～櫻山・大手先通りエリア～
 - ～本町通り・寺町エリア～
 - ～紺屋町・葺手町エリア～
 - ～中津川エリア～
 - ～肴町エリア～
 - ～八幡通りエリア～
 - ～下ノ橋町・清水町エリア～
 - ～鉤屋町エリア～

3. 盛岡市中心市街地の将来ビジョン

- (1) 盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン
- (2) エリアごとの将来ビジョン
 - ～駅前通りエリア～
 - ～北上川エリア～
 - ～材木町エリア～
 - ～開運橋エリア～
 - ～大通商店街エリア～
 - ～菜園通りエリア～
 - ～映画館通りエリア～
 - ～内丸・中央通りエリア～
 - ～櫻山・大手先通りエリア～
 - ～本町通り・寺町エリア～
 - ～紺屋町・葺手町エリア～
 - ～中津川エリア～
 - ～肴町エリア～
 - ～八幡通りエリア～
 - ～下ノ橋町・清水町エリア～
 - ～鉤屋町エリア～

4. 今後に向けて

- (1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）
- (2) 実現化方策
- (3) 今後のスケジュール

1. 盛岡市中心市街地デザイン戦略とは

(1) 問題意識 – なぜ今「中心市街地」に「デザイン戦略」が必要か？

社会経済が成熟化する一方、人口減少、高齢化等の問題に加え、地域間競争も一層厳しくなります。市民が豊かな暮らしを享受することと、それを次の世代へ継承していくためには、上記のような諸問題に対処しつつ、盛岡の誇る自然環境や歴史・文化を大切に、特色あるまちづくりを進め、北東北及び岩手県の玄関口である本市の県都としての価値をさらに高めていくことが求められます。

本市の中心市街地では「交通の要衝」「商業の中心地」「官公庁街」など、エリア毎に特徴をもったまちが成立してきた反面、現在は下記のような具体的な課題への対応が必要な状況にあります。

- 戦後～高度経済成長期を支えた都市インフラが順次、更新時期を迎えており、中心市街地の一角をなす内丸地区では市庁舎などの再整備が求められている。
- 商店街の商業機能の低下や機能移転などによって生じた空地等に、長期的な視点を持たない土地利用や開発行為が散見される。

このような状況を踏まえ、長期的な展望を持って都市を再編し、次代にふさわしいまちづくりを進めるためには、公共側においては「**全体の方針と民間側の意向や動きを勘案した、選択と集中による合理的な公共投資のあり方**」を、民間側は「**経済活動とその効果を志向しつつも、中心市街地全体と各エリアのあるべき姿・将来像との接点と、公共機能や他事業の存在**」を十分に考慮することが求められます。その上で、お互いの性質の違いを理解するとともに、整合性のあるまちづくりを進めるための方策が必要となります。

こうした認識のもと、行政と民間とが連携し、**まちづくりの将来像と実現のための方策**を示すため、デザイン戦略を策定します。

(2) デザイン戦略とは？

ここで用いている「デザイン」とは道路の舗装パターン、建物の意匠、ストリートファニチャーの形状などのディテール（詳細）だけではなく、都市において、**全体とエリア毎の特徴を活かしたまちづくりを進めるための方策そのもの**を総称します。

「開発に際して市の方針を把握したい」「公共が担うことと民間がなすべきことの間隙や境界を理解したい」「他のエリアとの違いを知った上で地域に則した取組を考えたい」など、目的と手段に応じ、時にアイデア集成として、参考資料として、ベース図として、紐解かれることを想定しています。

(3) 中心市街地デザイン戦略の位置付け

盛岡市の行政運営における最上位計画「**総合計画**」の下、望ましい都市像やまちづくりの目標を明確にし、この目標の実現に向けて、都市計画の諸施策を総合的かつ体系的に展開していくため、市民参加のもとに策定する将来のまちづくりへ向けた基本方針を定めたものが「**都市計画マスタープラン**」です。盛岡市が実施する都市計画（土地利用、道路・公園・下水道等の都市施設整備、市街地開発事業等）は、すべてこのマスタープランに即して実施されることになります。

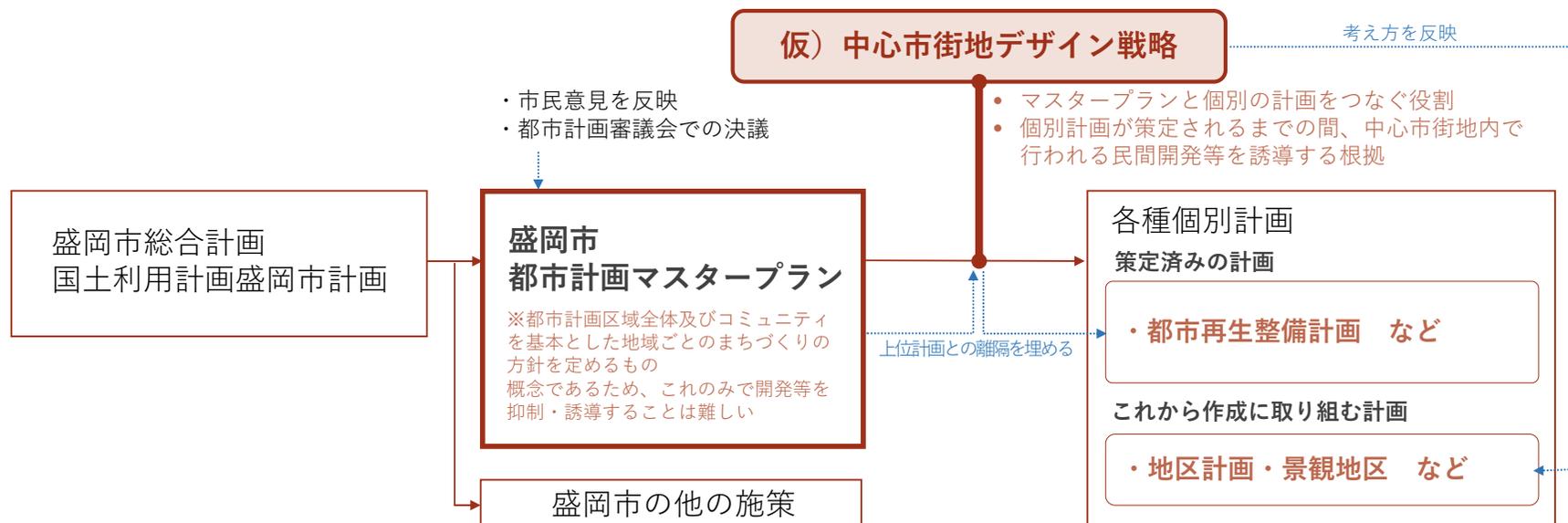
盛岡市都市計画マスタープランの特長

本市の都市計画・まちづくりに関わる各種既定計画を総合する役割を担っています。本計画における“まちづくり”とは、道路や公園などの主にハード面の整備という概念で用いられる“都市整備”に、**市民参加などソフト面の取組も含めた概念**として広義に捉えています。

一方で・・・

多くの場合、行政の計画が規制等の確認以外で紐解かれることは少なく、都市計画マスタープランに関しても同様です。

そこで、中心市街地デザイン戦略は、中心市街地全体の将来ビジョンだけでなく、市民生活において身近な課題に基づく都市整備のイメージを共有するとともに、即応性が求められる問題への対応を取りまとめ、「**生きた計画**」として活用されるものとなることを目指しています。



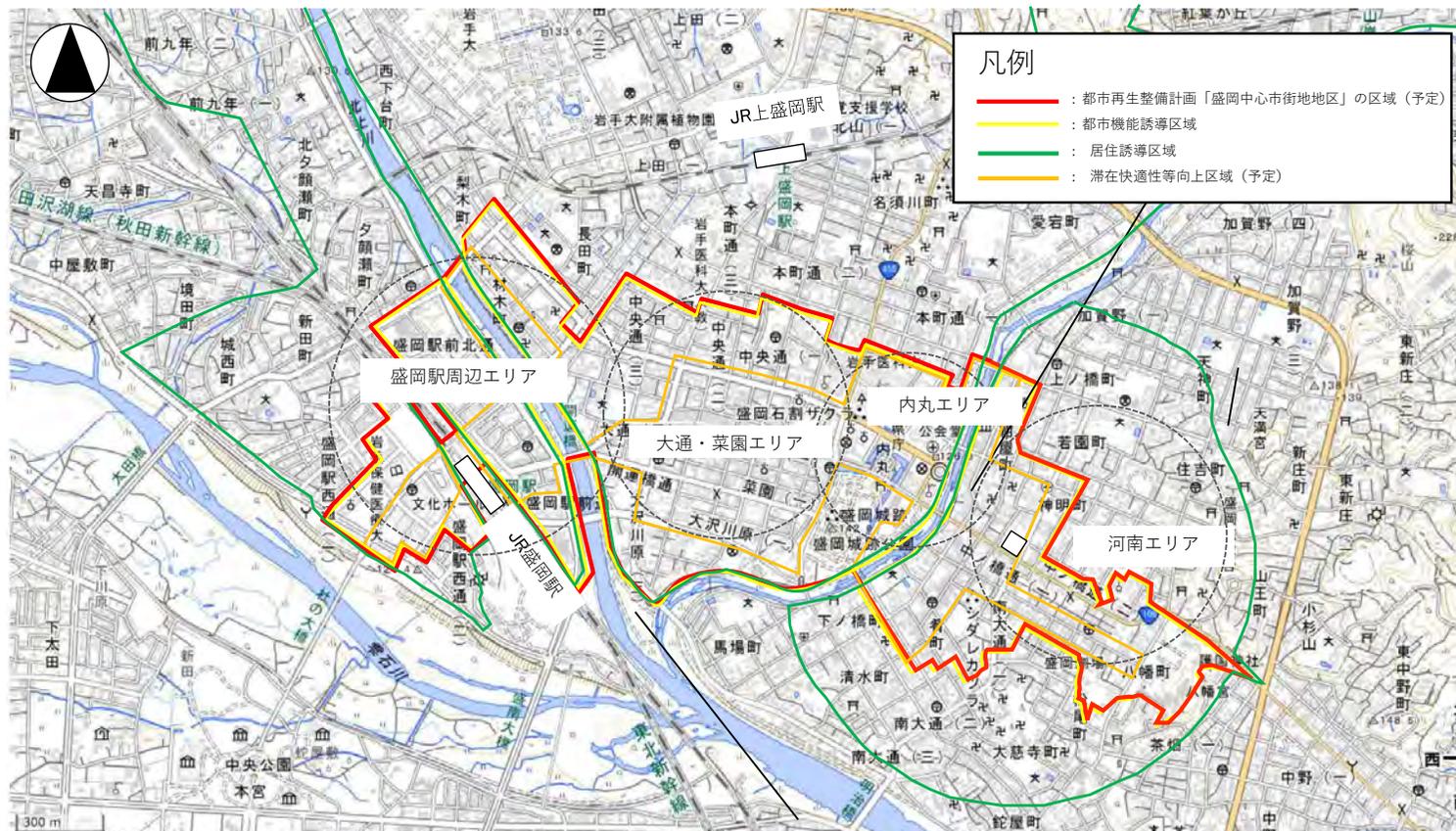
(4) 中心市街地デザイン戦略の対象区域

デザイン戦略で対象とするのは大きく分けて「**盛岡駅周辺**」「**大通・菜園**」「**内丸**」「**河南**」の4つの区域（エリア）です。

エリアの中でも、まちの形質や民間の組織やその取組によってさらに細分化される状況にあることから、下記の16地区に細分化して、検討を進めます。

- 盛岡駅周辺**・・・駅前通り、北上川、材木町
- 大通・菜園**・・・開運橋、大通商店街、菜園通り、映画館通り
- 内丸**・・・内丸・中央通り、櫻山・大手先通り
- 河南**・・・紺屋町・葺手町、中津川、肴町、八幡町

中心市街地に隣接し、文化や伝統を育むような民間の取組が活発であるエリアや、中心市街地との連携が考えられるエリアとして、本町通り・寺町、鉦屋町、下ノ橋町・清水町も対象としています。



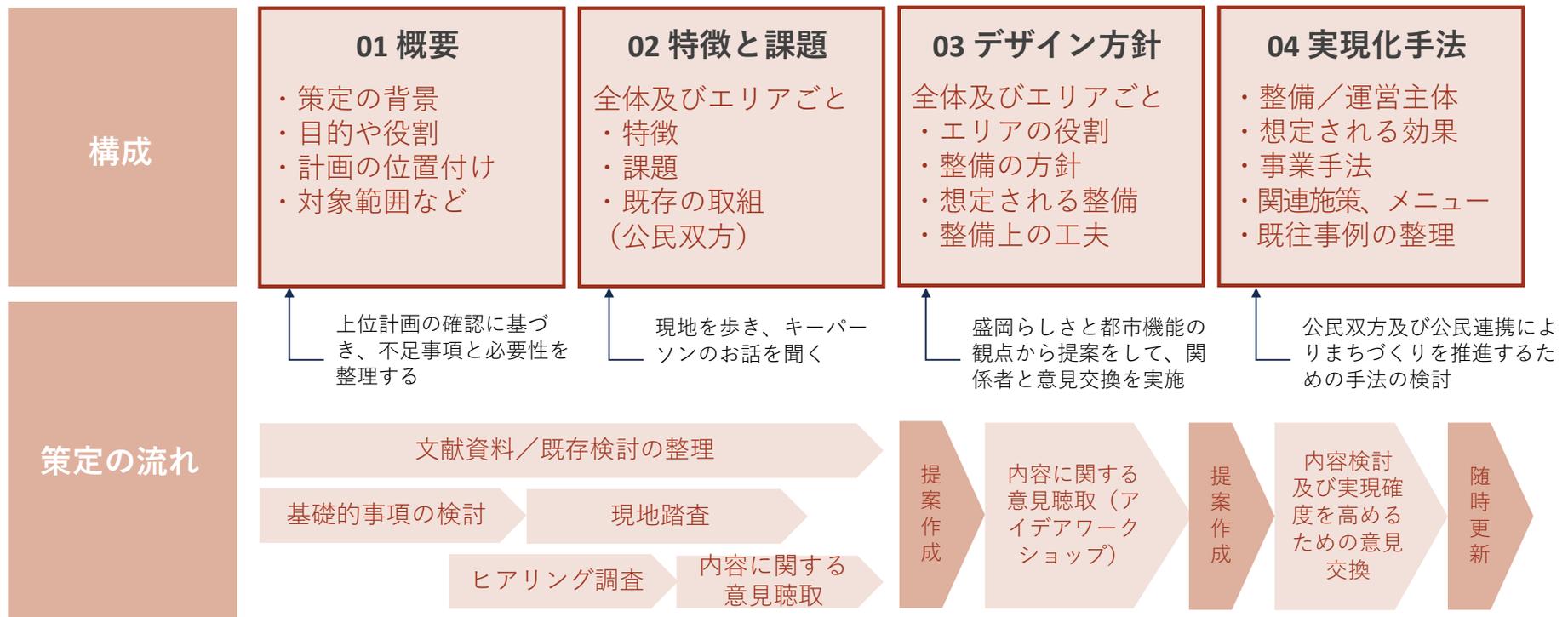
(5) 中心市街地デザイン戦略の役割

中心市街地デザイン戦略の役割は大きく分けて下記の3つです。

- 上位計画に記された将来像やまちづくりの方針に基づいて策定される各種計画の位置付けを明確にするとともに、詳細計画に落とし込むための素地とすること
- 策定の過程から広く公開し、盛岡市の姿勢を周知・啓発するとともに、まちづくりに関する公民の活発な意見交換の「題材」としても活用すること
- 民間のポテンシャルや開発・更新・運営など、エリアごとの公民連携の可能性にも言及し、官民双方が創意工夫に満ちたまちづくりを推進するための指針として活用されること

(6) 中心市街地デザイン戦略の構成と策定の流れ

中心市街地デザイン戦略の構成及び策定の流れは下記のとおりです。



2. 盛岡市中心市街地の特徴と課題

(1) 盛岡市中心市街地全体の特徴・課題及び中心市街地全体のまちづくりの方針

特徴

①自然と近世の町割りが生きる都市の骨格

- ・ 岩手山をはじめとする山々と北上川・中津川の自然を取り込んだ、盛岡城を核とする近世の町割りが都市の骨格の基礎となっている。

②様々な時代の文化を発信する個性のあるエリアと施設の点在

- ・ 商店街をはじめ各エリアで個性の強い、民間による取組が活発に行われている。
- ・ 民芸や喫茶、映画や文学など様々な時代・ジャンルの文化を発信する施設が点在している。

課題

③エリア間のつながりが薄い

- ・ 各エリア間の連携が少なく、エリアを結ぶ歩行者動線も整っていないため、中心市街地全体の回遊性が低い。
- ・ 材木町・鉈屋町など中心部から少し離れた魅力的なエリアがあるが、そこへのアクセスがしづらい。

④まちなかの緑やオープンスペースが少ない

- ・ 子どもが遊び、地域活動ができるオープンスペースが少ない。
- ・ 駐車場やマンション開発の一方、緑や水を感じる空間が少ない。

方針①

街から山への眺望や川辺空間、近世町割りを活かすことで、自然を取り込んだ盛岡の都市骨格を日常で感じられるまちづくりを進める。

方針②

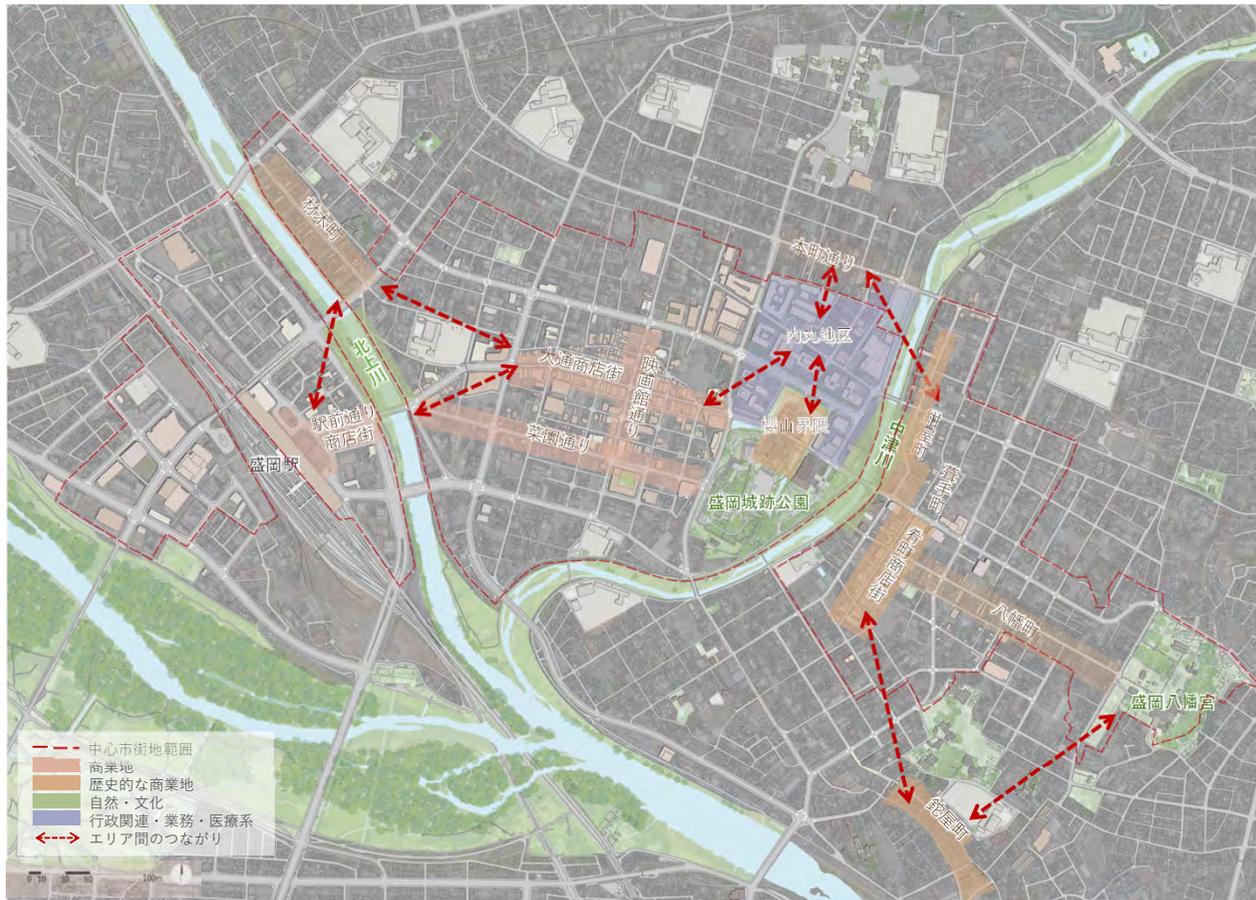
各エリアの個性と、それぞれの店舗が創り出す細やかな文化に触れられるよう、魅力的な情報発信をおこなっていく。

方針③

各エリアを結ぶ公共空間・歩行者空間整備やモビリティの導入により、エリア間の連携を促進していく。

方針④

まちなかの潤いを増やし地域の活動の場を提供する、自然や地域資源を活かしたオープンスペースを整備する。



(2) エリアごとの特徴と課題

～歩行者回遊・モビリティ～

■エリアの特徴

- ・ ニューヨークタイムズ紙で2023年に「人混みを避けて歩いて回れる珠玉の街」と紹介され、街歩きが盛んである。

■エリアの課題

- ・ 行政・民間の取組の連携が不十分かつエリア間の回遊性が低い。
- ・ 材木町・鉦屋町など中心部から離れたエリアへのアクセスがしづらい。
- ・ バス～他交通手段間の交通結節機能の強化
- ・ 盛岡駅～盛岡バスセンター間の基幹公共交通軸の形成

■行政の取組

【自動車】

- ① 都心環状道路の設定（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【公共交通】

- ② 市内循環バス（でんでんむし）の走行
- ③ 拠点間連絡バスの検討（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【自転車】

- ④ 盛岡市サイクルルートの設定
- ⑤ 自転車走行空間の拡充（盛岡市「もりおか交通戦略」）

【歩行者回遊】

- ⑥ 歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の指定（「市道盛岡駅前通線」「県道盛岡停車場線」）
- ⑦ 「歩いて楽しむ中心市街地形成戦略」（歩行者・自転車優先エリアの設定、通過交通の排除等）（盛岡市「もりおか交通戦略」）
- ⑧ 菜園通りの道路空間再配分（盛岡市「もりおか交通戦略」）
- ⑨ 将来道路網計画の見直し（都市計画道路下ノ橋南大通線）
- ⑩ 都市計画道路下ノ橋南大通線の2車線対面通行化
- ⑪ 都市計画道路本町通天神町線及び都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備（道路整備プログラム、もりおか交通戦略（第二期））
- ⑫ 市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等
- ⑬ 中央通り・大手先通りの再整備の検討（「内丸プラン中間とりまとめ」）
- ⑭ まち歩きマップの作成

■民間の取組

【公共交通】

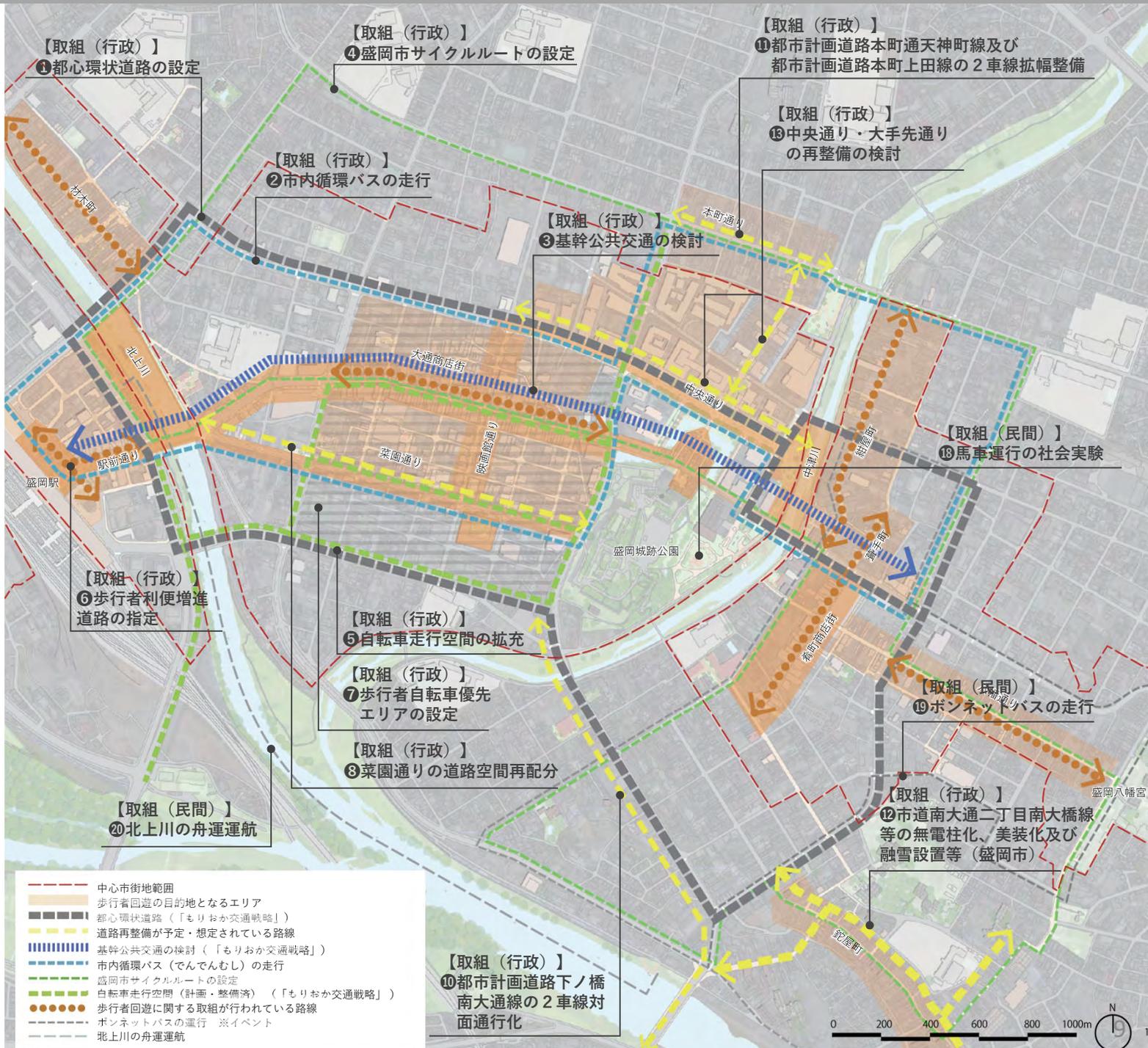
- ⑮ LRTの導入に関する調査検討（もりおか交通まちづくりLRTフォーラム）

【歩行者回遊】

- ⑯ 歩行者天国・道路利活用の取組
- ⑰ 回遊マップの作成（各エリア）

【その他のモビリティ】

- ⑱ 馬車運行の社会実験（盛岡馬車みち会議）
- ⑲ ポンネットバスの走行 ※イベント時（もりおか八幡界隈まちづくりの会）
- ⑳ 北上川の舟運運航（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）



■エリアの特徴

- 盛岡の第一印象をつくる玄関口である。
- ホテルや飲食店が集積し観光客やビジネスマンが多い。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 駅前と木伏緑地・北上川方面との面的な回遊が生まれにくい。
- インバウンド等の観光客の増加に対応した基盤整備が求められている。

【個別の課題】

- ①地下道を通して盛岡駅と駅前通りを行き来するルートが分かりづらい。
- ②駅前通り北側エリアが、駅前と北上川を結び、駅前を印象づけるエリアになっていない。
- ③東口のバスロータリーでバリアフリー化がおこなわれておらず、バスと歩行者が交錯し危険な状況である。

■行政の取組

- ①市道盛岡駅前通線、県道盛岡停車場線における歩行者利便増進道路の指定（岩手県、盛岡市）

- ②駅前通りへの市産材を使用したストリートファニチャーの設置（YADORIGI PROJECT）
- ③盛岡駅前自転車駐車場に係る機能移転の検討
- ④盛岡駅前南地区地区計画（平成15年3月17日盛岡市告示第101号）の制定

■民間の取組

- ⑤もりおか駅前開運ホコテン（2023,2024）の開催（盛岡駅前商店街振興組合）
 - 交通規制を実施し、駅前通りを歩行者天国化
- ⑥盛岡駅前滝の広場のイベント活用
 - JR盛岡まつり（JR東日本）
 - おもてなしさんさ（盛岡観光コンベンション協会）
 - いわて酒蔵フェスタ（岩手県酒造組合）
- ⑦駅前通りのイベント活用
 - もりおかイルミネーションブライト
 - もりおか歴史文化館前広場や肴町商店街と連携したイベント
- ⑧本宮長田町線高架下の活用
 - 北の民謡市場（盛岡駅前商店街振興組合）

エリアの特徴



盛岡駅

取組（行政）①



歩行者利便増進誘導区域

取組（行政）②

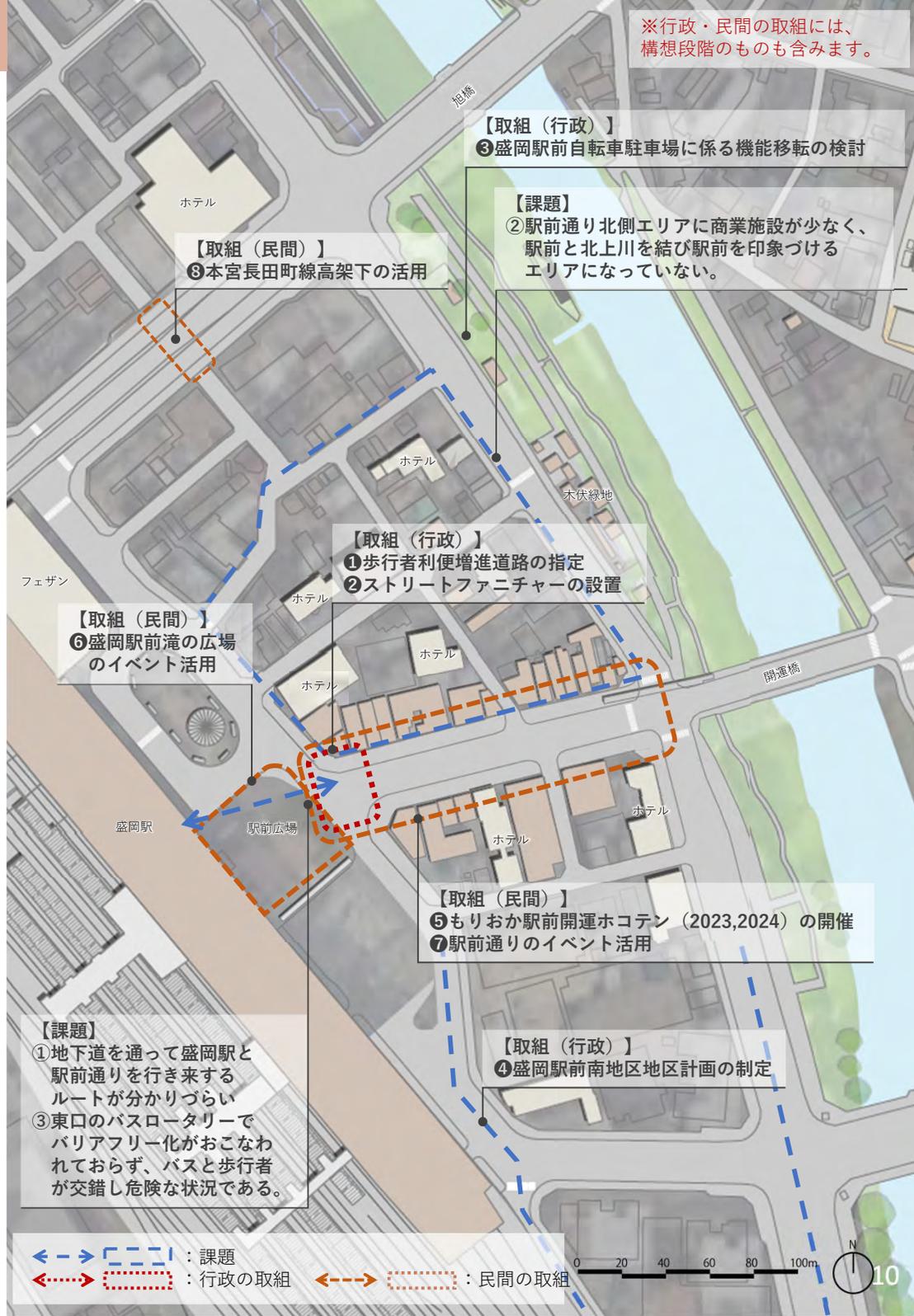


駅前通り歩道へのベンチ・植栽の設置

取組（民間）⑧



北の民謡市場



※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

■エリアの特徴

- 開運橋が岩手山への眺望スポットとなっており、かわまちづくりの推進により水辺空間の整備と利活用が行われている。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 北上川の左岸があまり活用されておらず、エリア全体の面的にぎわいや回遊も形成されていない。

【個別の課題】

- 建物や駐車場が水辺に背を向けており、水辺空間のにぎわいに寄与していない。
- 材木町や大通商店街への歩行者動線が分かりづらい。
- 開運橋や北上川の河川敷の歩道が狭く、盛岡を代表する岩手山と北上川の景観を印象的に眺められる場所が少ない。
- 市道開運橋夕顔瀬橋線の横断歩道の危険性や旭橋袂交差点地下道のバリアフリー化に関する市民意見がある。
- 盛岡駅前自転車駐車場の老朽化が進んでいる。

■行政の取組

- 盛岡市景観計画による景観形成（盛岡市）
 - 眺望景観保全区域（開運橋から岩手山眺望領域）：建築物等の高さ制限
 - 河川景観保全区域（北上川）：建築物等の高さ・形態意匠に関する指針及び建築物等の高さ・色彩・建築設備に関する勧告基準
- 盛岡地区かわまちづくりの推進（岩手河川国道事務所）
 - 管理用階段、散策路、もりおか港の整備

■民間の取組

- 木伏緑地の整備・活用（ゼロイチキョウ合同会社）
- 開運橋花壇の維持管理（開運橋花壇クラブ）
- 北上川の舟運運航（北上川に舟っこを運航する盛岡の会）
- 盛岡駅前自転車駐車場におけるシェアサイクルの実施

エリアの特徴



開運橋から北上川の眺め

取組（行政）②



もりおか港

個別の課題①

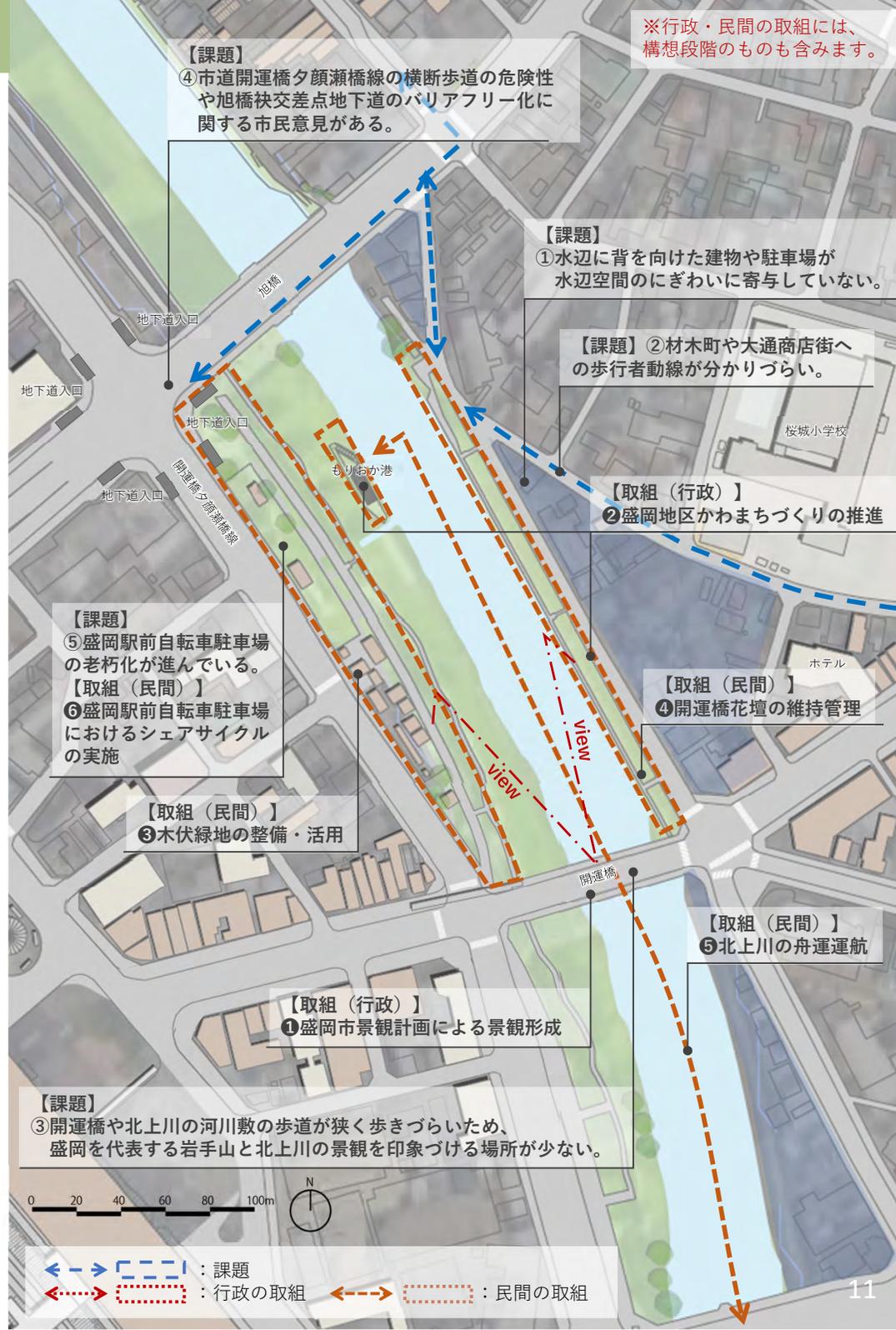


北上川左岸

取組（民間）④



開運橋花壇



■エリアの特徴

- 宮沢賢治ゆかりの民芸品店や「いーはとーぶアベニュー」（街路）の整備など、宮沢賢治にちなんだまちづくりが行われている。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 店舗が減少し、平日昼間の人通りが少ない。
- 材木町までのアクセス及び材木町の入り口が分かりにくく、周辺エリアとのつながりが弱い。
- 開運橋と夕顔瀬橋を結ぶ水辺空間へのアクセスが分かりづらく、材木町裏石組などの資源を活かし切れていない。

■行政の取組

- 市産材を使用したストリートファニチャーの設置 (YADORIGI PROJECT)
- 材木町裏石組の保存建造物への指定 (盛岡市)

- 景観重要建造物武田邸の一般公開 (盛岡市)
- コミュニティ道路の整備、モニュメントの設置 (盛岡市材木町商店街振興組合)

■民間の取組

- 材木町よ市 (材木町よ市実行委員会)
- よ市のマスコットキャラクターの作成 (材木町よ市実行委員会)
- 材木町商店街駐車場の活用 (盛岡市材木町商店街振興組合)
 - 「よ市クラフトビールカーニバル」の開催
- 材木町渡し船 (北上川に舟っこを運航する盛岡の会)
- 酒買地蔵尊祭の開催 (酒買地蔵尊奉賛会)
 - 盛岡市内の蔵元「あさ開」「菊の司」「桜顔」による御堂開きやきき酒コンテスト
- 木材を活用したリノベーション (HITONOKI等) (三田農林株式会社)

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



【取組（行政）】
③ 保存建造物武田邸の一般公開

【取組（民間）】
⑩ 木材を活用したリノベーション

【取組（行政）】
① 市産材を使用したストリートファニチャーの設置
④ コミュニティ道路の整備

【取組（民間）】
⑤ 材木町よ市
⑥ 歩道へのモニュメントの設置

【取組（民間）】
⑦ 材木町商店街駐車場の活用

【取組（民間）】
⑧ 材木町渡し船

【取組（行政）】
② 材木町裏石組の保存建造物への指定

← - - - - - : 課題
← - - - - - : 行政の取組 ← - - - - - : 民間の取組



■エリアの特徴

- 盛岡停車場線沿いで、飲食店や古着屋等の個人店が増加している。

■エリアの課題

- 【エリア全体の課題】
- 開運橋橋詰など、エリアの顔となる空間や滞留スペースが不足している。
 - 店舗と街路空間の一体性がない
- 【個別の課題】
- 盛岡停車場線沿いの交差点がエリアを印象づける空間になっていない。
 - 北上川の水辺空間へアクセスしづらい。

■民間の取組

- クロステラス盛岡でのイベント開催・木材利用
(クロステラス盛岡)
➢ 盛岡珈琲フェスティバル
- クロステラス盛岡でのフードコートの整備
(クロステラス盛岡)
- 県産材を利用したリノベーション施設の整備
(三田農林株式会社)

【取組（民間）】

- クロステラス盛岡でのイベント開催・木材利用
- クロステラス盛岡でのフードコートの整備

【課題】

- 北上川の水辺空間へアクセスしづらい。

【課題】

- 盛岡停車場線沿いの交差点がエリアを印象づける空間になっていない。

【取組（民間）】

- 県産材を利用したリノベーション

エリアの特徴



盛岡停車場沿いの店舗

個別の課題①



盛岡停車場沿いの交差点

取組（民間）②

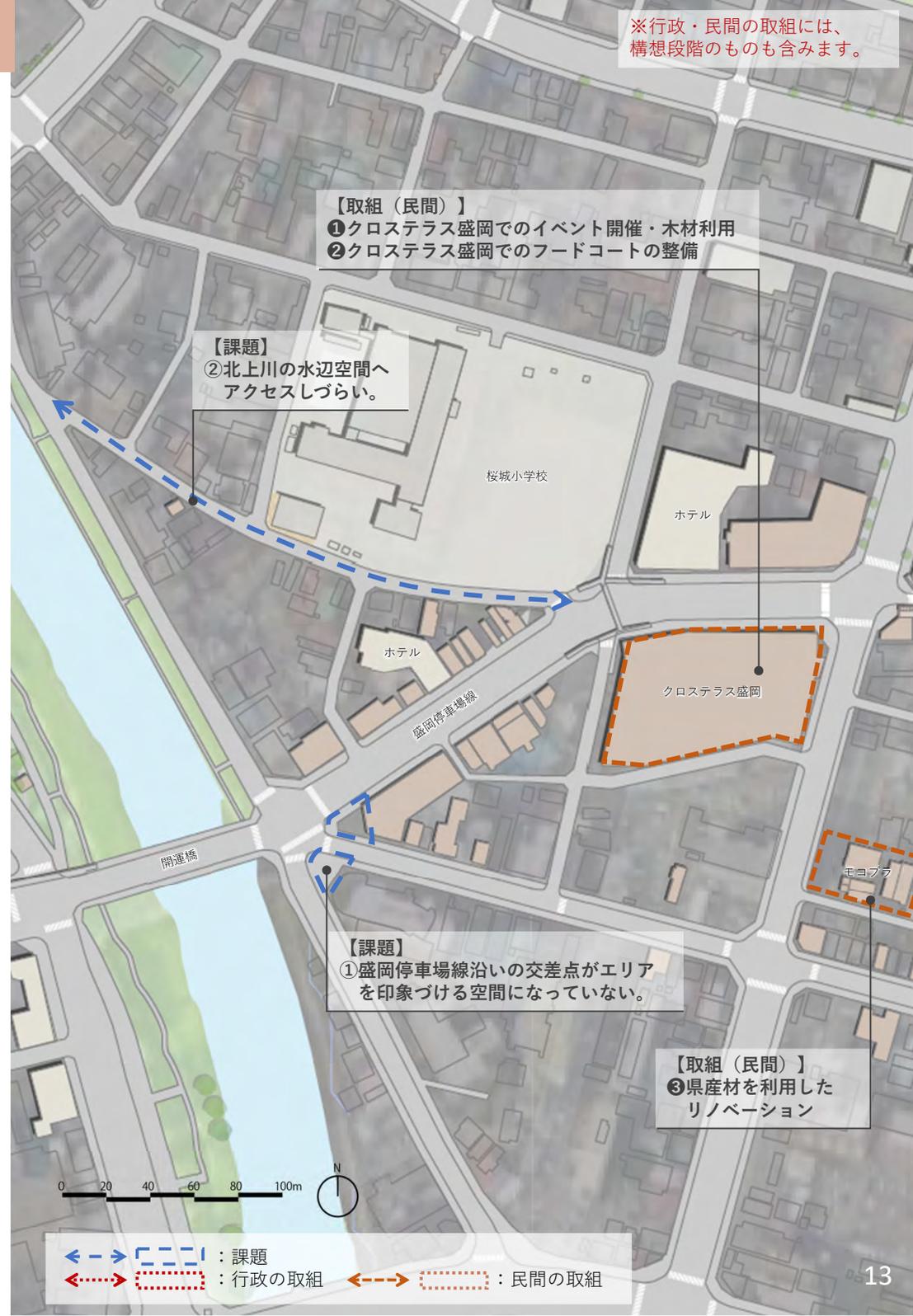


クロステラス盛岡

取組（民間）③



県産材を利用したリノベーション施設



← - - - → - - - - - : 課題
← - - - → - - - - - : 行政の取組 ← - - - → - - - - - : 民間の取組

■エリアの特徴

- チェーンの居酒屋やカラオケ等、夜間に営業する若者向けの店舗が集積し、夜の人通りが多い。
- 小売店が減少し、飲食店が増加している。
- 旧河道沿いに飲食店・居酒屋・スナック・バー等が集積している。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 建物の老朽化が進み、大規模修繕期を迎える。
- 街路樹や滞留スペースが少ない。
- 地元資本の店舗が減少している。
- 放置自転車が歩道に溢れている。

【個別の課題】

- ①交差点部の駐車場化により沿道のにぎわいやまちなみが途切れてしまっている箇所がある。

■行政の取組

- ①パーキングチケットの用途転換（警察）
 - 旧パーキングチケット帯を利用した荷卸用の駐車帯、自転車駐輪エリア設置（大通り）
 - タクシー駐車帯（亀が池）
- ②大通り・菜園通りにおける「歩行者・自転車優先エリア」の形成（「もりおか交通戦略（第二期）」）
- ③拠点間連絡バスの運行検討（盛岡駅～大通り～盛岡バスセンター）（「もりおか交通戦略（第二期）」）

■民間の取組

- ④歩行者天国、イベント開催（盛岡大商店街協同組合）
- ⑤もりおかスクエア春咲きフェスタの開催（もりおかスクエア）
- ⑥フォーラム盛岡 ARTの開業（2025予定）（フォーラム運営委員会）

エリアの特徴



大商店街アーケード

エリアの特徴



旧河道沿いの飲み屋街

個別の課題①

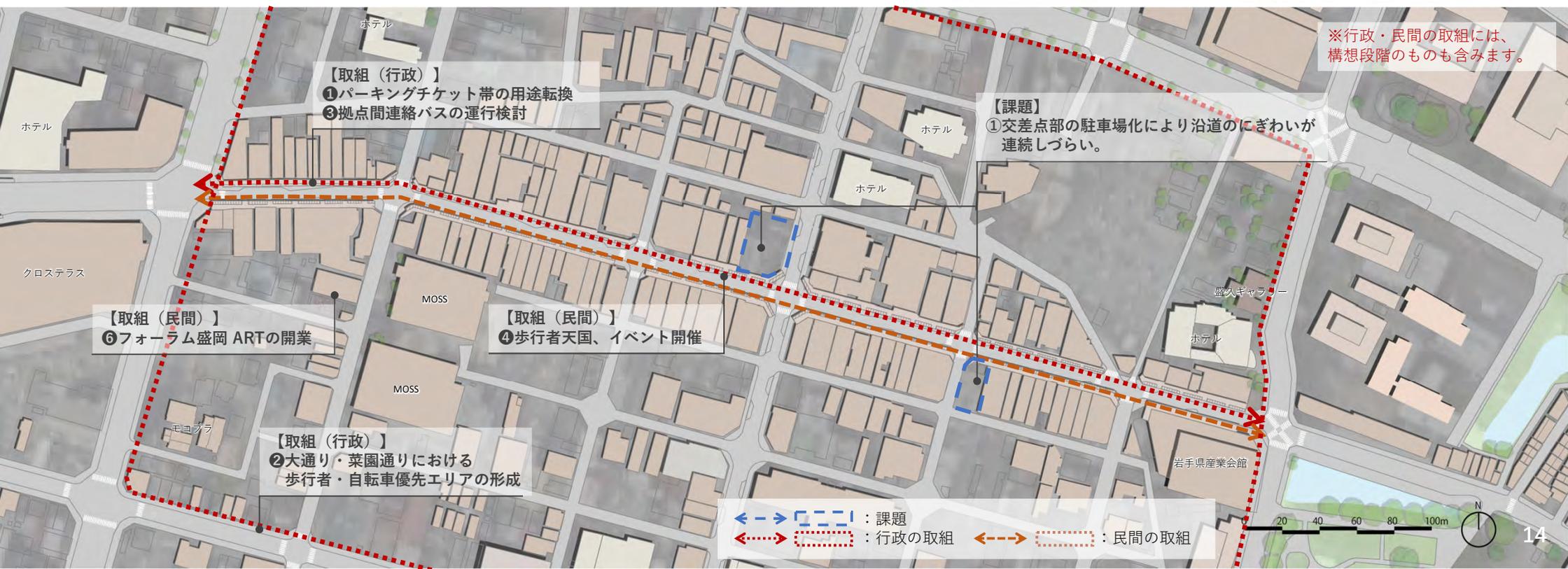


大商店街交差点の駐車場化

取組（行政）①



大商店街の自転車駐輪エリア



■エリアの特徴

- 菜園通り沿いで、飲食店や衣料品店等の個人店が増加している。

■エリアの課題

- 【エリア全体の課題】
- 駐車場の増加や高層マンション等の開発により沿道のにぎわいが連続しづらい。
- 【個別の課題】
- ① 菜園通りの歩道が狭く、歩きづらい。
 - ② 菜園通り西側の交差点がエリアの顔となる空間になっていない。

■行政の取組

- ① 菜園通りの歩行者自転車空間再配分（もりおか交通戦略（第二期））
- ② 自動車通過交通の排除（もりおか交通戦略（第二期））
- ③ 都心環状道路の整備（もりおか交通戦略（第二期））
- ④ 景観計画による「盛岡城跡公園から岩手山眺望領域」の設定

■民間の取組

- ⑤ MOSS前オープンスペースやカワトク屋上広場の活用（MOSS,カワトク）
- ⑥ ヘラルポニーのカワトクへの旗艦店出店
- ⑦ 盛岡という星でBASESTATIONにおける交流人口創出の取組（「盛岡という星で」プロジェクト）
- ⑧ 路地裏の飲食店のイベント
 - 盛岡お月見ハシゴ酒祭り

エリアの特徴



菜園通り沿いの個人店

取組（民間）⑤



MOSS前のオープンスペース

取組（民間）⑥



ISAI PARK

取組（民間）⑦



盛岡という星でBASESTATION



※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

■エリアの特徴

- 映画館（盛岡ピカデリー・盛岡ルミエール・中央映画劇場）が集積し、映画をテーマにしたまちづくりが行われている。
- ストリートファニチャー（舗装・街灯・ツリーサークル・ハンギングバスケット・フラッグ）が統一されていることで、通りの一体的なイメージ形成を目指している。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- ①空きテナントや駐車場が増加し、映画館通りのにぎわいが低下している。
- ②ストリートファニチャーが統一されているものの、映画館通りらしさをアピールするものが少ない。また、舗装やファニチャーの老朽化が進んでいる。

■行政の取組

- ①映画の街盛岡推進事業（盛岡市）
 - 盛岡という星で BASESTATION における「素敵なまちの映画祭」の開催
 - 飲食・映画鑑賞セット券の販売

■民間の取組

- ②もりおか座映画祭の開催（2025）（映画のカプロジェクト）

エリアの特徴



エリアの特徴



エリアの課題①



取組（行政）①



【取組（行政）】
①盛岡という星で BASESTATION における「素敵なまちの映画祭」の開催

← - - - → - - - - : 課題
← - - - → - - - - : 行政の取組 ← - - - → - - - - : 民間の取組

■エリアの特徴

- 行政施設が集積し、中央通りの街路樹や沿道建物の公開空地の緑化、日影門緑地や内丸緑地等のまとまった緑地がある。

■エリアの課題

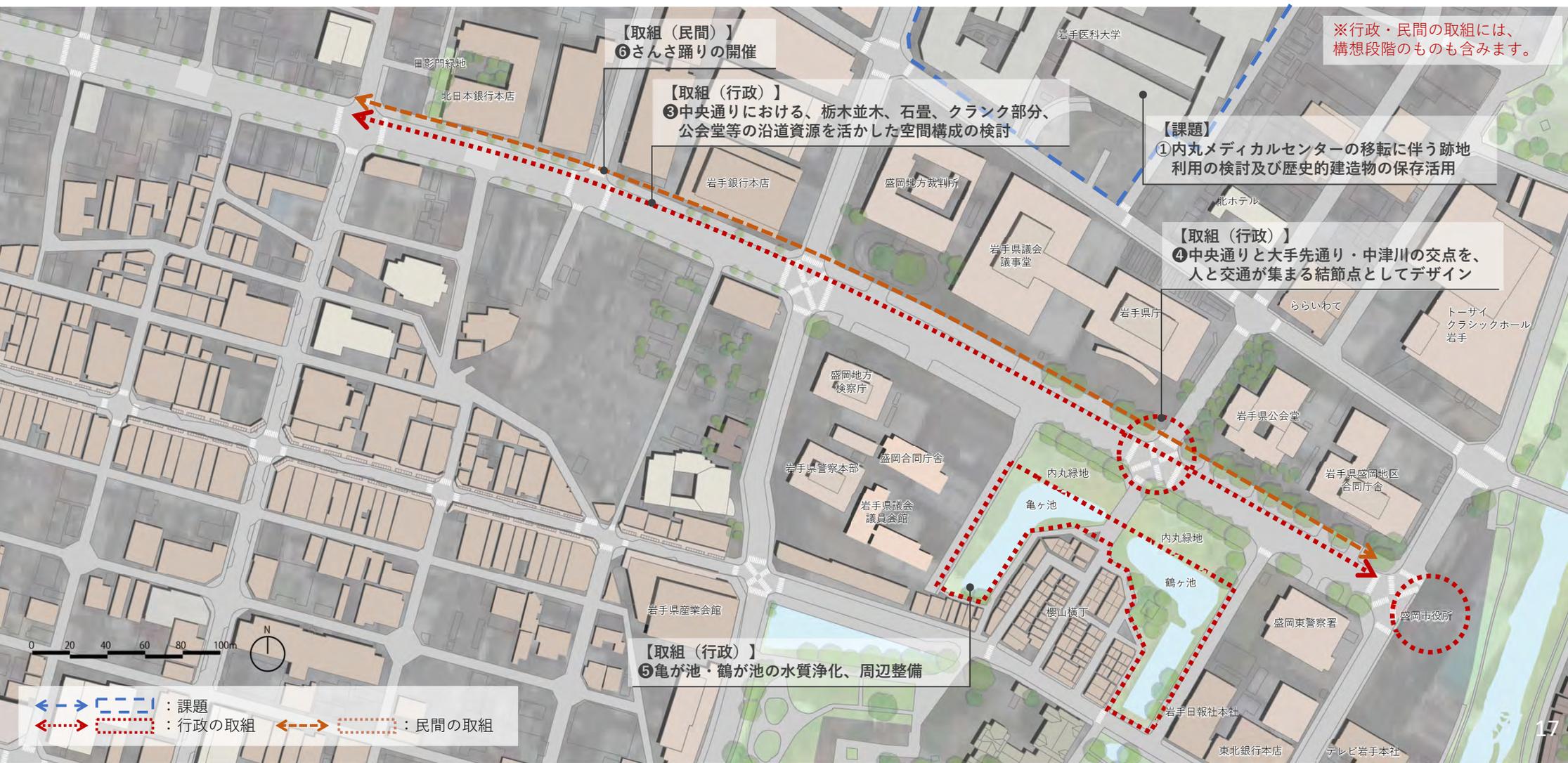
- 【エリア全体の課題】
- 行政機能が集積しているが、その他の都市サービス機能に乏しく、市民が日常的に訪れるエリアになっていない。
- 【個別の課題】
- ①内丸メディカルセンターの移転に伴う跡地利用の検討及び歴史的建造物の保存活用

■行政の取組

- ①新市庁舎の整備（「盛岡市新市庁舎整備基本構想」）
- ②四季を感じられるヒューマンスケールの居心地よい場の整備（盛岡市「内丸プラン中間とりまとめ」）
- ③中央通りにおける、栃木並木、石畳、クランク部分、公会堂等の沿道資源を活かした空間構成の検討（盛岡市「もりおか交通戦略」盛岡市「内丸プラン中間とりまとめ」）
- ④中央通りと大手先通り・中津川の交点を、人と交通が集まる結節点としてデザイン（盛岡市「内丸プラン中間とりまとめ」）
- ⑤亀が池・鶴が池の水質浄化、周辺整備（盛岡市「お城を中心としたまちづくり計画」「史跡盛岡城跡整備基本計画」「史跡盛岡城跡保存活用計画」）

■民間の取組

- ⑥さんさ踊りの開催（盛岡さんさ踊り実行委員会）



■エリアの特徴

- 櫻山神社や櫻山横丁、上ノ橋観光駐車場の石灯籠跡、上の橋の青銅擬宝珠、緑の広場、上の橋際のイチョウ等の歴史・自然資源が豊富である。
- 東大通商店街・櫻山横丁には、個性的な飲食店・雑貨屋が集積している。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 盛岡城跡公園や櫻山神社周辺のにぎわいが北側に波及していない。
- 櫻山横丁では、オーナーの高齢化や建物の老朽化が進んでいる。

【個別の課題】

- ①大手先通りのエリアイメージが不明瞭であり、盛岡城の正面の道であったことが感じられにくい。
- ②緑の広場が周辺に対して閉じた印象で、川・まちとのつながりが弱い。
- ③景観重要樹木のイチョウの木が根上がりしており、高齢化が進んでいる。

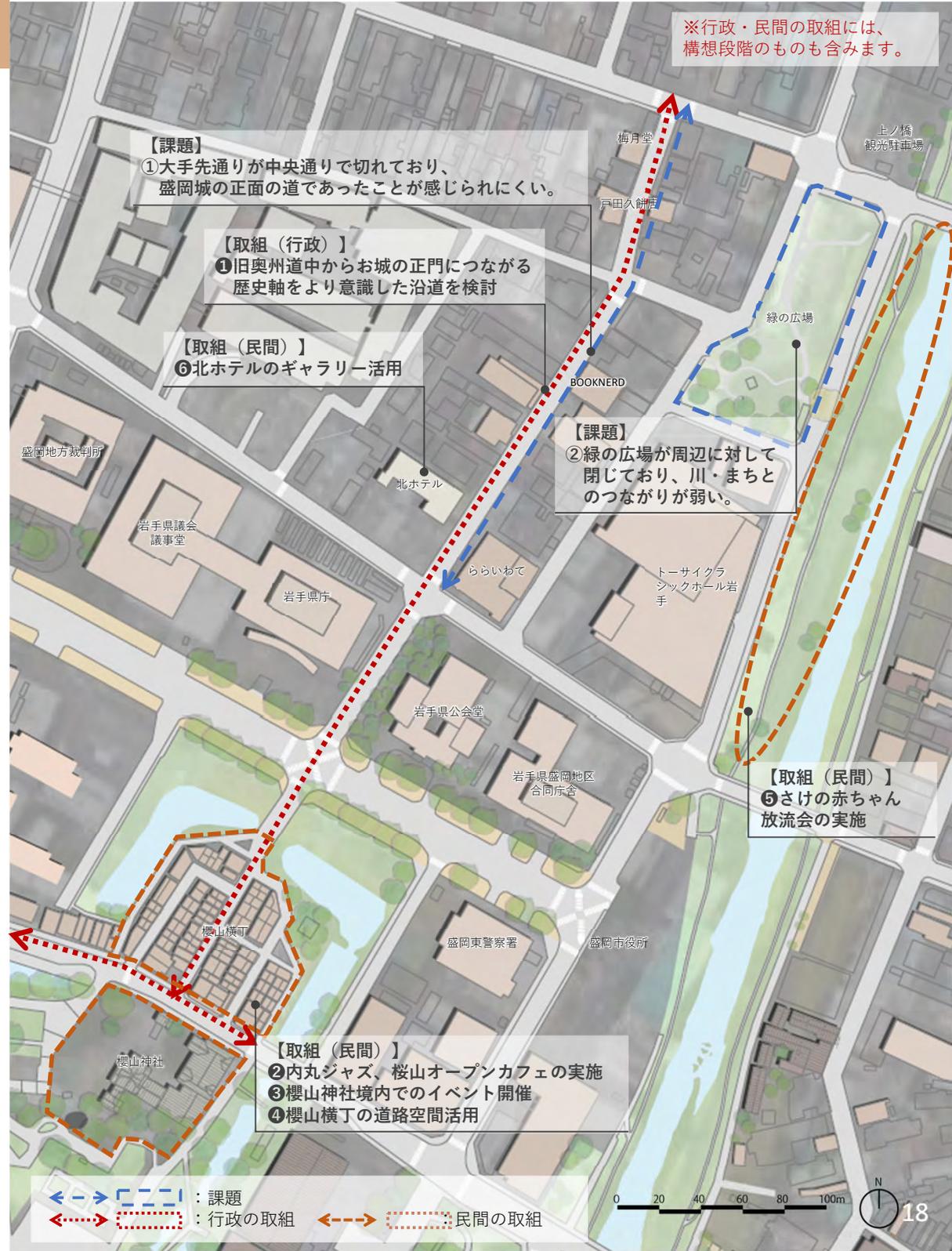
■行政の取組

- ①旧奥州道中からお城の正門につながる歴史軸をより意識した沿道を検討（盛岡市「内丸プラン中間とりまとめ」）

■民間の取組

- ②内丸ジャズ、桜山オープンカフェの実施（東大通商業振興会）
- ③櫻山神社境内でのイベント開催
イベント開催（東大通り）
➢ 節分祭
➢ 櫻山神社例大祭
- ④櫻山横丁の道路空間活用（2020,2021）（サクヨコ実行委員会）
- ⑤さけの赤ちゃん放流会の実施（盛岡本町振興会）
- ⑥北ホテルのギャラリー活用（北ホテル）

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



【課題】

- ①大手先通りが中央通りで切れており、盛岡城の正面の道であったことが感じられにくい。

【取組（行政）】

- ①旧奥州道中からお城の正門につながる歴史軸をより意識した沿道を検討

【取組（民間）】

- ⑥北ホテルのギャラリー活用

【課題】

- ②緑の広場が周辺に対して閉じており、川・まちとのつながりが弱い。

【取組（民間）】

- ⑤さけの赤ちゃん放流会の実施

【取組（民間）】

- ②内丸ジャズ、桜山オープンカフェの実施
- ③櫻山神社境内でのイベント開催
- ④櫻山横丁の道路空間活用

エリアの特徴



上の橋

エリアの特徴



緑の広場

エリアの特徴



櫻山横丁

取組（民間）⑤



北ホテル

← - - - → : 課題
← - - - → : 行政の取組
← - - - → : 民間の取組

0 20 40 60 80 100m



■エリアの特徴

- かつての盛岡城下の目貫通りとして、歴史のある店舗や建物が点在、文化財を有する寺院群がある。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 車通りが多い一方、歩行空間が確保されていない。
- セットバックや駐車場の増加により街並みが連続していない。
- 本町通りと寺町を結ぶルートが少なく、回遊がしづらい。

■行政の取組

- ①盛岡市サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）
- ②都市計画道路本町通天神町線及び都市計画道路本町上田線の2車線拡幅整備（道路整備プログラム、もりおか交通戦略（第二期））

■民間の取組

- ③本町界限散策マップの作成（盛岡本町振興会）
- ④寺を活用したイベントの実施（専立寺）
 - ▶ 夜行書店、クリスマスコンサート、大菩薩マーケットの実施

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



【取組（行政）】
④お寺を活用したイベントの実施

【取組（行政）】
①盛岡市サイクルルートへの位置づけ

【取組（行政）】
②本町通天神町線の2車線拡幅整備

← - - - - - → : 課題
 ← - - - - - → : 行政の取組
 ← - - - - - → : 民間の取組

エリアの特徴



本町通り沿いの建物

エリアの特徴



寺町

エリアの特徴



報恩寺

エリアの課題



本町通り

■エリアの特徴

- 紺屋町の通り沿いに、岩手銀行赤レンガ館やござ九、盛岡信用金庫本店や紺屋町番屋等、歴史的建造物が立ち並んでいる。
- 市外からの移住者による古着屋やセレクトショップ等の店舗が増えている。(ミナペルホネン等)

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- マンション開発や駐車場整備によりエリアの街並みに変化しており、一部の住民は、マンション建設に対して不安を抱いている。

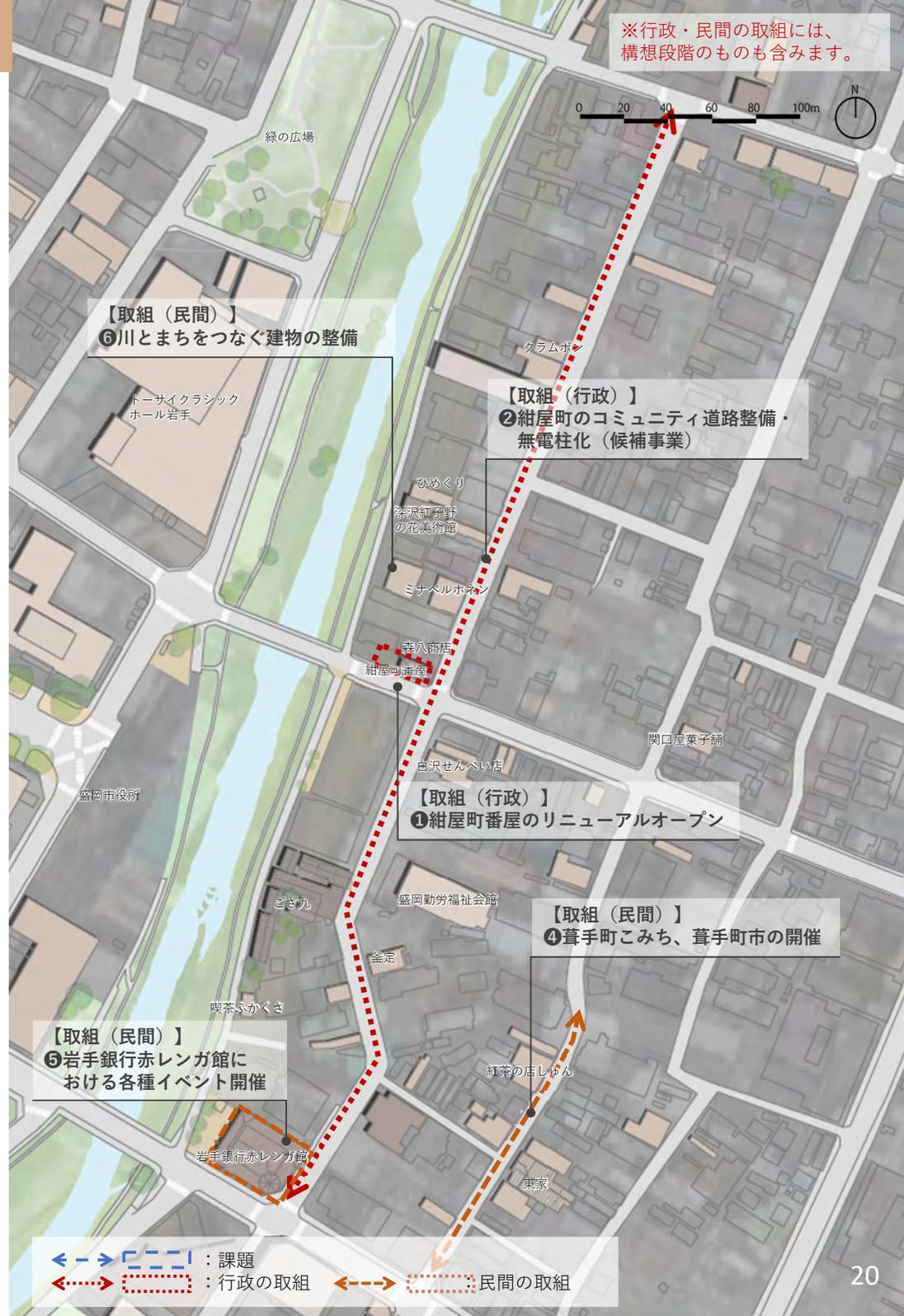
■行政の取組

- 紺屋町番屋のリニューアルオープン (2022) (盛岡市)
- 紺屋町のコミュニティ道路整備・無電柱化 (盛岡市「盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会」における候補事業)

■民間の取組

- 紺屋町かいわいスタンプラリー (紺屋町かいわい街並み協議会)
- 葺手町こみち、葺手町市 (葺手町商店会)
 - 道路占用に関するコロナ特例を活用した道路空間の活用
- 岩手銀行赤レンガ館における各種イベント開催
- 川とまちをつなぐ建物の整備

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



エリアの特徴



岩手銀行赤レンガ館

エリアの特徴



ござ九

取組 (行政) ①



紺屋町番屋

取組 (民間) ⑥



中津川沿いのテラス

■エリアの特徴

- 盛岡を象徴する河川である中津川は、ヒューマンスケールの市民に身近な水辺空間であり、河川敷では川遊びや釣りをする人が見られる。
- 上の橋、与の字橋、中の橋の橋詰周辺には、広場・緑地が整備されている。
- 大正元年11月に完成した護岸が象徴的な景観を形成している。

■エリアの課題

- 【エリア全体の課題】
- 橋詰広場と周辺街路とのつながりが弱く、中津川沿いの遊歩道へアクセスしづらい。
 - 水辺と行き来する上下動線の位置が分かりづらく、水辺に近づきづらい。
 - まちから水辺にアクセスできる動線が少ない。
 - 川に背を向けた建物や駐車場により、水辺とまちのつながりが弱い。

■行政の取組

- 盛岡市景観計画における景観形成
 - 眺望景観保全区域（与の字橋から愛宕山眺望領域）：建築物等の高さ制限
 - 河川景観保全区域（中津川）：建築物等の高さ・形態意匠に関する指針及び建築物等の高さ・色彩・建築設備に関する勧告基準
- かわとまちが一体となった親水空間の整備（盛岡市「内丸プラン中間とりまとめ」）
- 中津川周辺へのオープンカフェの設置（盛岡市「盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会」における候補事業）
- なかのはし1-1ひろばでの社会実験（盛岡市）
- 盛岡城跡公園での「盛岡さくらまつり」の開催（盛岡市）

■民間の取組

- 盛岡城跡公園でのイベント開催
 - 北のクラフトフェア
 - いしがきMUSICFESTIVAL
- 盛岡地区かわまち勉強会の開催



■エリアの特徴

- 食料品や日用品の店舗など、日常的に利用する店舗が集積している。
- 若い世代による古着や雑貨等の店舗が増えている。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 全蓋式アーケードの老朽化が進んでいる。
- アーケード南側で空き店舗が増加している。
- 子どもが遊べる場所が少ない。
- 買い物中に休憩できる場所が少ない。

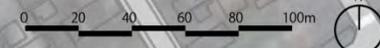
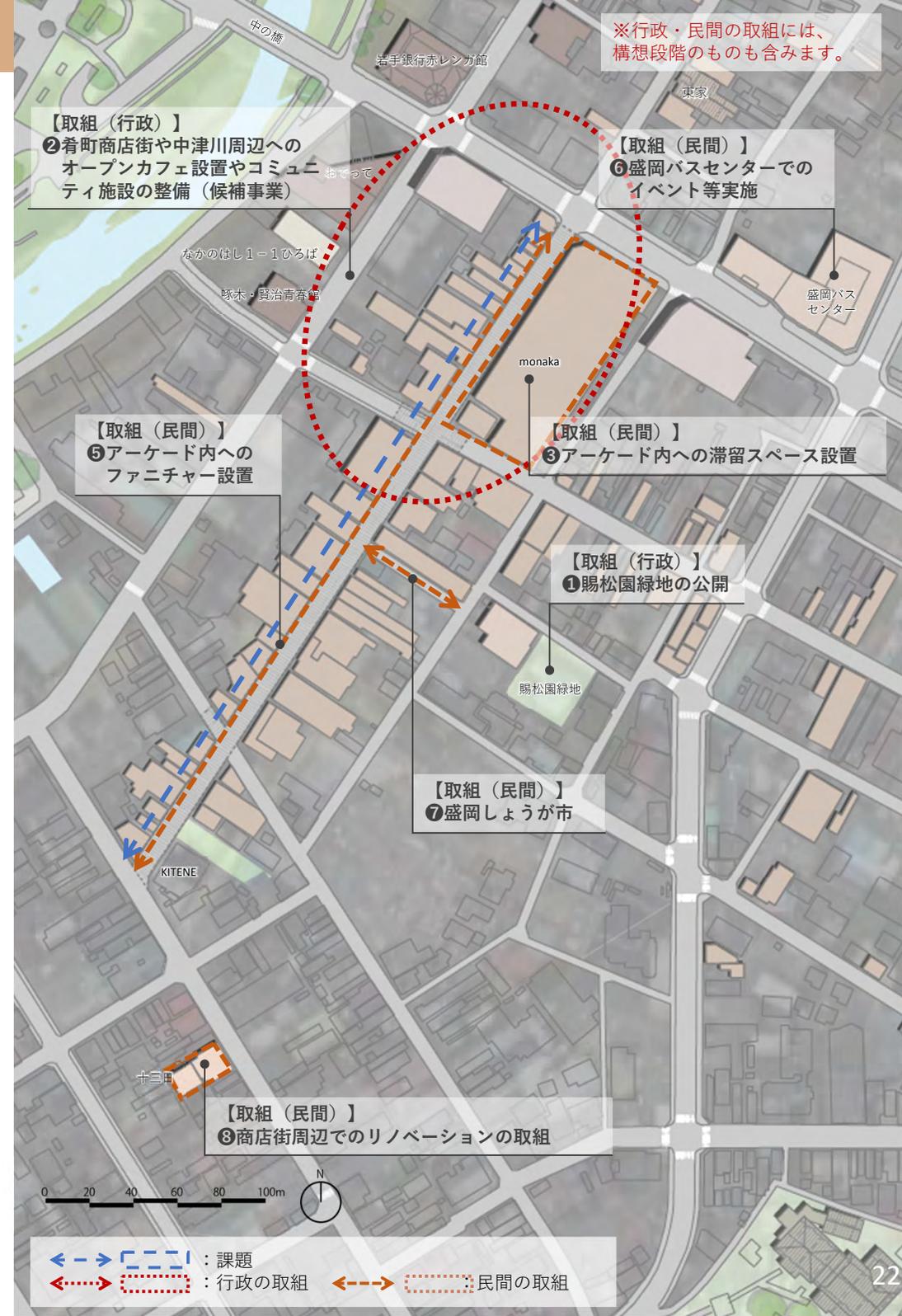
■行政の取組

- 1 賜松園緑地の公開 (盛岡市)
- 2 着町商店街や中津川周辺へのオープンカフェ設置やコミュニティ施設の整備 (盛岡市盛岡BC周辺地区公民連携まちづくり勉強会における候補事業)

■民間の取組

- 3 アーケード内への滞留スペース設置 (monaka)
- 4 歩行者天国、イベント開催 (盛岡市着町商店街振興組合)
 - セタ祭り、ハロウィーン
 - Snack Jack
 - 着町ナイトマーケット
- 5 アーケード内へのファニチャーの設置 (着町ベンチプロジェクト) (盛岡市着町商店街青年部)
- 6 盛岡バスセンターでのイベント等実施 (Mo-cal)
 - 屋上ビアガーデン・ジャズコンサート等のイベント開催
 - レンタルサイクルの貸し出し
 - ホテルフロントで河南エリアの紹介
- 7 盛岡しょうが市 (盛岡しょうが市実行委員会)
- 8 商店街周辺でのリノベーションの取組 (十三日)

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。



■エリアの特徴

- 盛岡八幡宮の参道である八幡通り沿いに、遊郭の名残を残す建造物や伝統工芸（南部鉄器）の店が点在している。
- 居酒屋やスナック等が集積している。

■エリアの課題

【エリア全体の課題】

- 駐車場の増加により沿道のにぎわいが連続しておらず、盛岡八幡宮まで遠く感じる。
- 中心市街地の外縁部に位置し、周辺との連携が弱い。中心市街地から回遊しづらい。

■行政の取組

- 盛岡サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）

■民間の取組

- 盛岡有楽町街のリノベーション（もりおか八幡界限まちづくりの会）
- 町家風のカフェや物販施設の整備（株式会社カガヤ）
- 古民家のリノベーション（盛岡八幡家守舎）
- 歩行者天国イベント、ぼんぼこ市、八幡ともしび横丁の開催（もりおか八幡界限まちづくりの会）
- もりおかSUMMERガーデンの実施（もりおかSUMMERガーデン実行委員会）
- もりおか八幡はしご酒祭り（もりおか八幡はしご酒祭り実行委員会）

エリアの特徴



盛岡八幡宮

エリアの特徴



新八幡街

取組（民間）②



盛岡有楽町街

取組（民間）④



八藝館



【取組（民間）】
②盛岡有楽町街のリノベーション

【取組（民間）】
⑤歩行者天国イベント、ぼんぼこ市、八幡ともしび横丁の開催
⑥もりおかSUMMERガーデンの実施
⑦もりおか八幡はしご酒まつり

【取組（民間）】
④古民家のリノベーション

【取組（行政）】
①盛岡サイクルルートへの位置づけ

【取組（民間）】
⑥もりおかSUMMER
ガーデンの実施

※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

← - - - - - → - - - - - : 課題
← - - - - - → - - - - - : 行政の取組 ← - - - - - → - - - - - : 民間の取組

■エリアの特徴

- 南昌荘や旧石井県令邸等、文化財や歴史のある建物が点在している。
- 大通商店街方面から鉈屋町方面への回遊の中継地点となる。
- 病院の建て替え・跡地利用等、民間施設の新設更新が見込まれる。

■エリアの課題

- ① 目的性のある施設が点在しており、アクセスが分かりづらいため、エリアの拠点性が低い。
- ② 都市計画道路下ノ橋南大通線が一方通行である。

■行政の取組

- ① 盛岡市サイクルルートへの位置づけ（盛岡市）
- ② 旧着町分庁舎、旧とりょう保育園の土地売却（盛岡市）
- ③ 都市計画道路下ノ橋南大通線の整備（2車線対面通行化）
- ④ 景観計画による「盛岡城跡公園から南昌山眺望領域」の設定（盛岡市景観計画）

■民間の取組

- ⑤ 南昌荘でのイベント開催
 - 南昌荘のひなまつり
 - 南昌荘の紅葉の庭園ライトアップ
- ⑥ 旧石井県令邸のギャラリー活用
- ⑦ 遠山病院の建て替え（遠山病院）

エリアの特徴



南昌荘

エリアの特徴



旧石井県令邸

エリアの特徴



賢治の清水

取組（民間）⑦



遠山病院



■エリアの特徴

- 町家等の古い町並みや湧水等の地域資源が残っており、保全・活用の取組が盛んである。

■エリアの課題

- 【エリア全体の課題】
- 中心市街地から離れており、鉈屋町へのアクセスが分かりづらい。
 - 景観計画策定から10年以上経過し、街並みの維持が難しくなっている。

■行政の取組

- 新山河岸の整備
- 大慈寺景観地区、大慈寺地区地区計画の指定
- 市道南大通二丁目南大橋線等の無電柱化、美装化及び融雪設置等（盛岡市）
- 景観重要建築物 明治橋際の御蔵の保存活用（盛岡市）

■民間の取組

- 町家等の歴史的建造物の保存活用、イベント（盛岡まち並み塾）
 - 町家の借上げ、改修活用事業
 - 迎え火・黒川さんさ門付け
 - 盛岡町家旧暦の雛祭り
- ぶらり鉈屋町マップ（盛岡まち並み塾）
- 徳清倉庫の活用（徳清倉庫）
- もりおか町家物語館でのイベント開催
 - 酒蔵ブックマーケットの開催（浜藤の酒蔵）
 - もりおかお酒の学校の開催（盛岡町家物語館）
- あさ開でのイベント開催
 - 新酒まつりの開催
- 寺院の活用
 - 寺ヨガの開催（久昌寺）

エリアの特徴



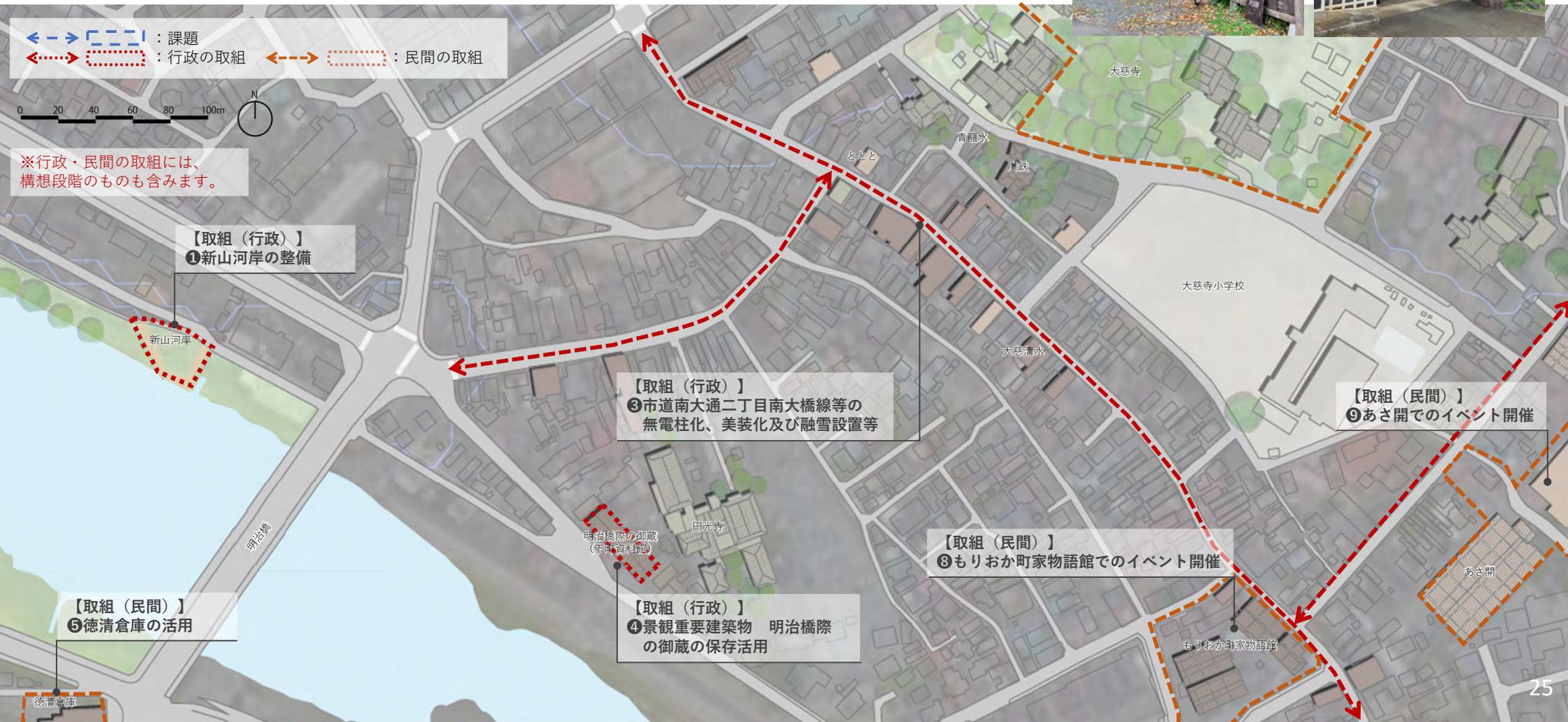
エリアの特徴



エリアの特徴



取組（民間）⑦



※行政・民間の取組には、構想段階のものも含まれます。

3. 盛岡市中心市街地の将来ビジョン

(1) 盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン



駅前通りエリア

盛岡の玄関口として、交通機能の再編を含めた駅前広場の再整備、駅前通りのトランジットモール化、街区全体での盛岡駅と北上川の面的な接続強化などによる、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡の玄関口エリアの形成を目指します。

- ①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の再整備に向けた分析・協議（提案）
- ②駅前通りのトランジットモール化に向けた分析・協議（提案）
- ③駅前通り北側街区への路面店の誘導・街路空間利活用の推進（提案）
- ④周辺エリアの団体が連携した盛岡の玄関口づくりの推進（提案）

内丸・中央通りエリア

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入、人中心の街路空間形成、沿道施設と一体の街路空間利用、中央通りの中津川との接続などの検討を通して、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

- ①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討（提案）
- ②街路空間利活用+モビリティハブの整備に向けた検討（提案）
- ③亀が池・鶴が池の水辺空間再整備に向けた検討（提案）

本町通り・寺町エリア

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、歴史的な建築物の活用と歩きやすい道づくりを進め、大手先通りから寺町への回遊性をつなげる歴史を活かしたエリアの形成を目指します。

- ①本町通りと寺町へのアクセス強化の検討（提案）
- ②リノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）
- ③本町通り・寺町の街並み等の景観ガイドラインの作成の検討（提案）

櫻山・大手先通りエリア

盛岡城への入り口であった大手先通り、櫻山神社と櫻山界限、亀が池・鶴が池など、風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、本町通り、紺屋町などの各方面へ回遊性をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

- ①大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）
- ②緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）
- ③歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）
- ④歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

北上川エリア

開運橋から岩手山への眺望や、右岸側にP-PFIで整備された木伏緑地、かわまちづくりで整備されたかわみなとの水辺空間を活かし、駅前周辺と大通りをつなぐ拠点形成を目指します。

- ①民間開発に合わせた左岸側の水辺空間形成の検討（提案）
- ②水辺のモビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）
- ③北上川沿い（開運橋～旭橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）
- ④北上川兩岸の一体的な活用の推進（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

紺屋町・葺手町エリア

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性的なエリア形成を目指します。

- ①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）
- ②紺屋町の歩車共有道路整備と街路空間利活用の検討（提案）
- ③中津川とのつながり強化と歴史資源の活用の検討（提案）

材木町エリア

既存の街路整備や光原社をはじめとする個性的な店舗、定期開催されるよ市などを活かし、周辺エリアとのつながりを強化することで、まちなか観光や周遊の目的となる個性的なエリア形成を目指します。

- ①材木町と周辺エリアとのつながりの強化（提案）
- ②材木町の魅力的な街並み形成の推進（提案）

北上川エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

中津川エリア

盛岡の地域資源である中津川を活かしたまちづくりに向け、川沿いに連続したオープンスペースの整備や、民間の水辺利活用の促進を通して、水辺景観の保全と、川とまちが一体となり四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的な親水エリアの形成を目指します。

- ①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出（提案）
- ②オープンスペースをつなぐ中津川沿いの遊歩道の検討（提案）
- ③中津川沿い（上の橋～毘沙門橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

駅前通りエリア

材木町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

開運橋エリア

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ土地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的なエリア形成を目指します。

- ①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化（提案）
- ②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

材木町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

肴町エリア

八幡通りエリア

大通商店街エリア

市内中心部の代表的な商業エリアとして、商店街の道路空間の再配分や歩車共有道路への改良、官民連携を見据えた交差点部の施設整備、周辺街区との連携強化、エリアマネジメント体制の充実等を検討し、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

- ①大通商店街の通りの再整備に向けた検討（提案）
- ②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討（提案）
- ③周辺街区とのつながりの強化による面的な回遊エリアの形成（提案）
- ④エリアマネジメント体制の構築と周辺エリアとの連携（提案）

映画館通りエリア

大通り、菜園通り、中央通りを南北につなぐ、盛岡の市民文化の歴史を伝える映画館通りを中心に、映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

- ①映画館通りの再整備に向けた検討（提案）
- ②エリアマネジメントによる市民文化を活かしたまちづくりの推進（提案）

下ノ橋町・清水町エリア

肴町エリア

八幡通りエリア

八幡通りは、町家が並ぶ盛岡八幡宮の参道であり、既存の街路整備やまちづくり団体の取組がみられます。町家リノベーションの展開や街並み等のガイドラインの作成による街並み景観や夜間景観の創出、周辺エリアとのつながりを生むモビリティの強化など、歴史性を活かしたエリアの形成を目指します。

- ①町家を活かしたリノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）
- ②周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）
- ③八幡通りの街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

菜園通りエリア

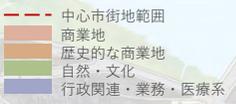
ホテルや商業施設が立地し、道路空間再配分による歩行者・自転車空間の充実が検討されている菜園通りにて、街路空間利活用の推進やエリアマネジメントに向けた体制づくりを検討し、駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

- ①菜園通りの道路空間の再配分による歩行者・自転車空間の充実（提案）
- ②沿道施設と一体の街路空間利活用の推進（提案）
- ③エリアマネジメントに向けた体制づくりの検討（提案）

下ノ橋町・清水町エリア

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源が点在しているほか、今後、病院の建て替え・跡地活用等の民間施設の新設・更新が見込まれるエリアです。民間施設と連携して、住民が日常的に気軽に訪れ、観光の中継地点となる小さな目的地を増やすことにより、大通商店街方面と鉤屋町方面への回遊をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

- ①民間施設の一部を活用した拠点づくりの検討（提案）
- ②エリア内外と連携した地域資源のPRの検討（提案）
- ③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）



(2) エリアごとの将来ビジョン

～歩行者回遊・モビリティ～

■歩行者回遊・モビリティに関するまちづくり方針（案）

「もりおか交通戦略」（令和3年3月策定）に基づく道路空間再編や既存の回遊ルートと、「中心市街地デザイン戦略」で検討する16エリアにおけるまちづくりの取組を連携させることにより、個性あるエリア間のつながりを強化し、徒歩や公共交通、その他のモビリティを乗り換えながら楽しく巡れる中心市街地の形成を目指します。

①エリア間のつながり強化（提案）

- 既存の行政・民間の取組（ほこみち指定・歩行者天国等）を活かし、街路や公園・広場などの公共空間の再整備・利活用や、回遊の目的地となる民間施設の整備を通して、個性ある各エリアのつながりを強化し、中心市街地全体の回遊性を創出することを目指します。

②自転車回遊ルートの拡充に向けた検討（提案）

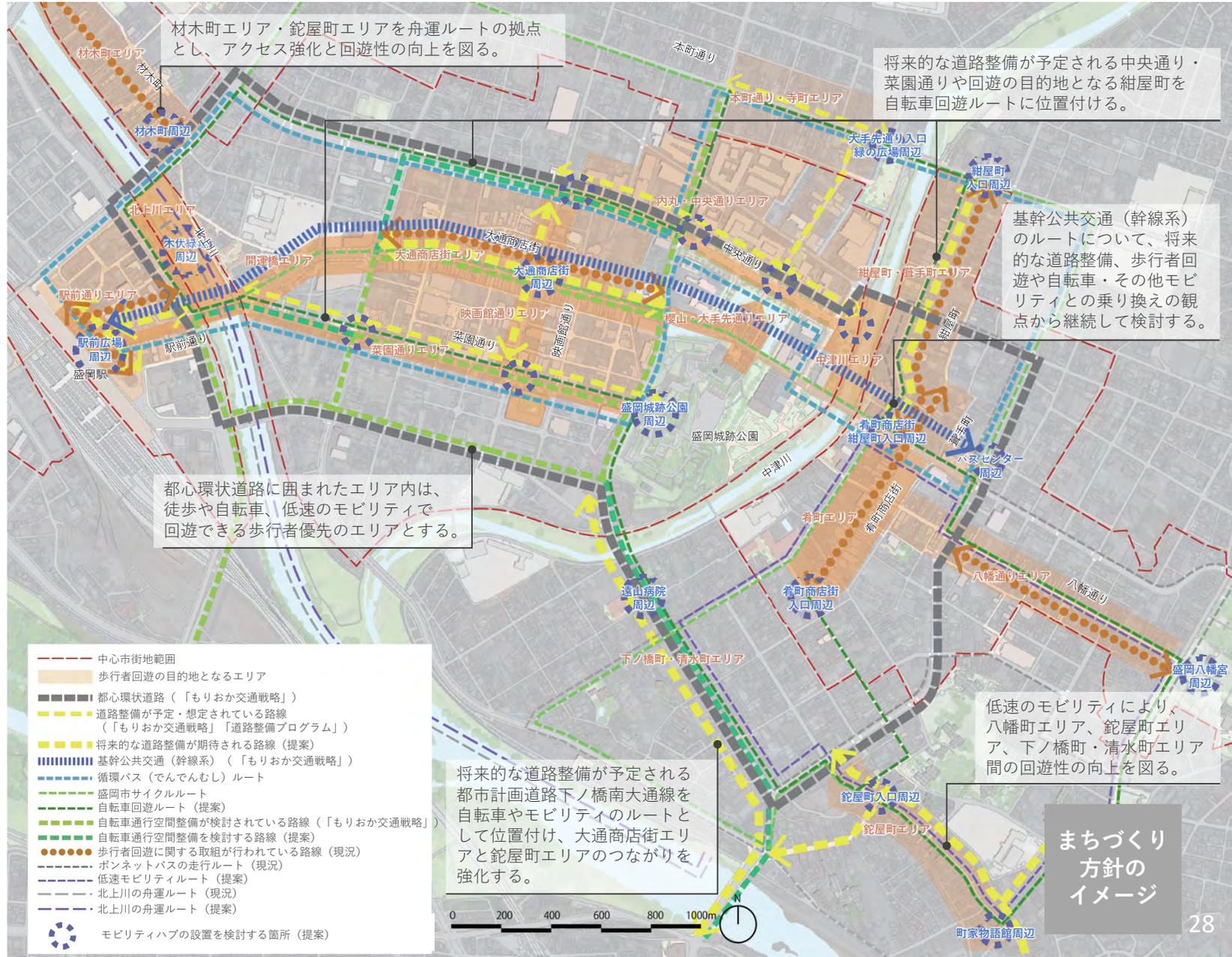
- 既存の自転車通行空間整備及びサイクルルートの設定を活かし、新たに道路整備が予定されている菜園通り（岩手公園開運橋線）及び、中央通り（県道盛岡横手線）の道路空間再配分等と連携して、まちづくりが進む各エリアを結ぶ自転車回遊ルートの形成を目指します。

③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 既存のイベント時の取組を活かし、馬車やポンネットバスなど個性的なモビリティの運行を検討し、中心市街地外縁部にあたるエリア（材木町エリア、本町通り・寺町エリア、鉈屋町エリア）へのアクセスの強化を検討します。

④モビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 道路整備や公園再整備、民間施設の再編を機に各モビリティの乗り換え地点となるモビリティハブの整備を検討し、中心市街地の各エリア間の回遊性の向上に寄与します。



■駅前通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡の玄関口として、交通機能の再編を含めた駅前広場の再整備、駅前通りのトランジットモール化、街区全体での盛岡駅と北上川の面的な接続強化などによる、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡のエントランスエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の再整備に向けた分析・協議（提案）

- 盛岡駅前周辺のバス・タクシー動線などの交通再編やバリアフリーの強化を含め、駅前通りと一体的で盛岡のエントランスエリアを形成する駅前広場の再整備に向け、交通分析や関係者協議を検討します。

②駅前通りのトランジットモール化に向けた分析・協議（提案）

- 官民連携による「駅前通り開運ホコテン」の社会実験の検証や、交通事業者との協議を通して、駅前通りの道路空間再編（トランジットモール化）による、盛岡の顔となる歩行者中心の街路空間の形成を目指します。

③駅前通り北側街区への路面店の誘導・街路空間利活用の推進（提案）

- 駅前通り北側街区への店舗の出店誘導や、細街路での沿道施設と一体となった街路空間の活用などにより、駅前と北上川をつなぐ魅力的な界隈の形成を目指します。

④周辺エリアの団体が連携した盛岡の玄関口づくりの推進（提案）

- 盛岡駅（JR）、盛岡駅前商店街振興組合、木伏緑地P-PFI事業者などの連携により、駅周辺全体の景観形成や公共空間の面的な利活用を検討します。

例) 駅前周辺の街歩きマップの設置

イルミネーションやおもてなしさんさなど、イベントでのエリア間の連携

参考事例) 歩車道一体の歩きやすい通り
善光寺表参道（長野市）

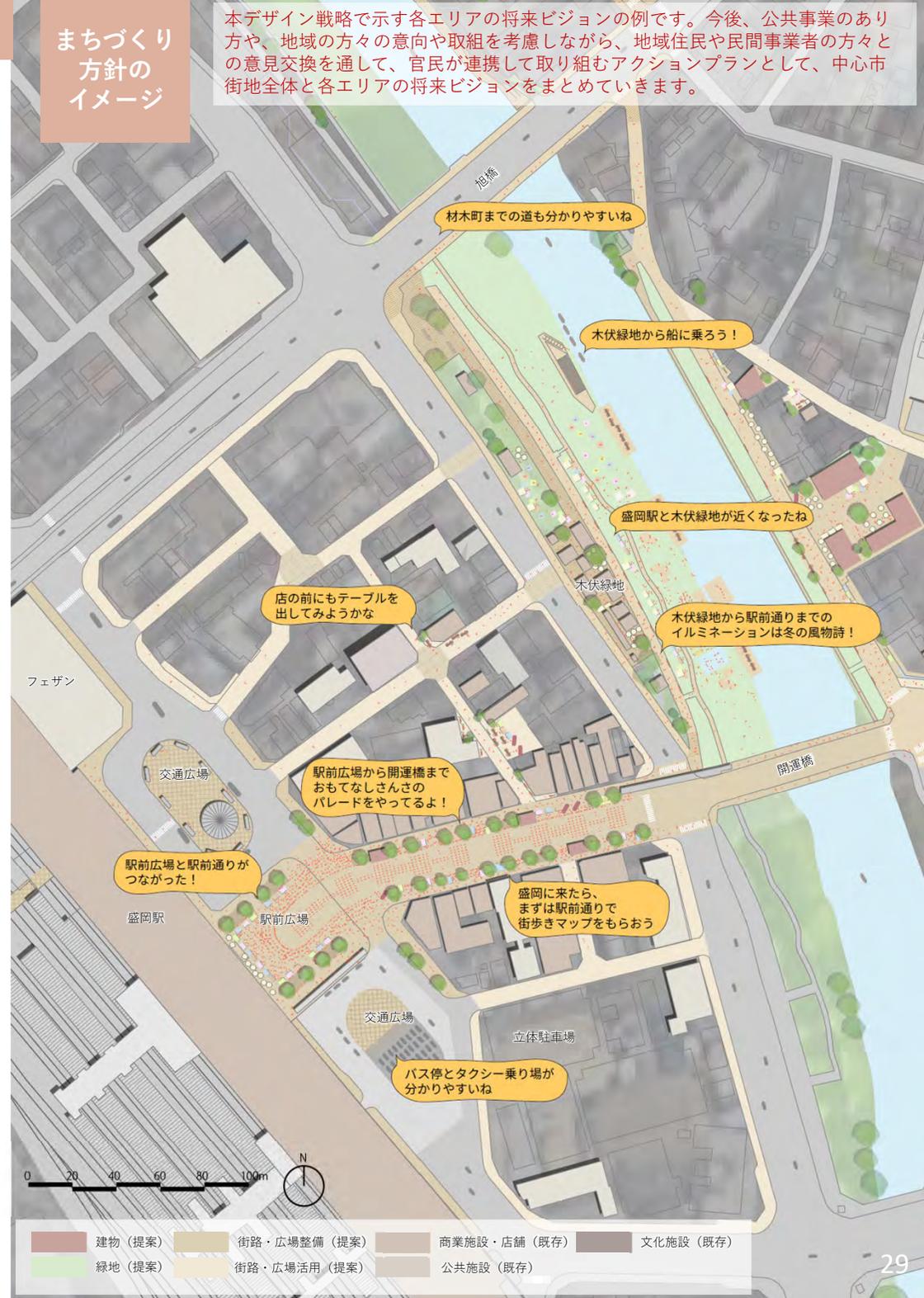


参考事例) 道路の利活用
新橋ガード下（港区）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■北上川エリアのまちづくり方針（案）

開運橋から岩手山への眺望や、右岸側にP-PFIで整備された木伏緑地、かわまちづくりで整備されたかわみなどの水辺空間を活かし、駅前周辺と大通方面をつなぐ拠点形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①民間開発に合わせた左岸側の水辺空間形成の検討（提案）

- 川沿いの民間開発と連携し、岩手山への眺望の確保やまちと川をつなぐ空間づくりを検討します。
- 川沿いの駐車場の集約によるオープンスペース整備の検討や、川沿いの街路空間の活用なども合わせて検討し、魅力的な水辺空間の形成を目指します。

②水辺のモビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 右岸側に整備された木伏緑地をベースに、自転車や舟を含めたモビリティハブの設置を検討します。
- 例) 木伏緑地の既存整備や緑地を活かした、ベンチ設置、軽食等のスタンドの出店の促進などを行い、自転車や船の利用者が過ごしやすい拠点づくり（モビリティハブ）を目指します。

③北上川沿い（開運橋～旭橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 開運橋から北上川越しに岩手山を望む盛岡の代表的な景観を保全し、さらににぎわいのある水辺空間を形成していくために、景観計画を補完する建物高さ・形態・用途の規制・誘導等を定めた街並み等のガイドラインや地区計画の作成を検討します。

④北上川両岸の一体的な活用の推進（提案）

- 既存の取組を活かして連携することで両岸の一体的な景観形成やイベントの開催を推進します。
- 例) 北上川両岸へのカウンターテーブルや照明の統一した整備等によるまとまりのある景観形成。川を舞台に両岸の建物や広場・道路を一体的に使ったイベントの検討など。

参考事例) 水辺沿いの張り出しテラス
柏の葉アクアテラス（柏市）

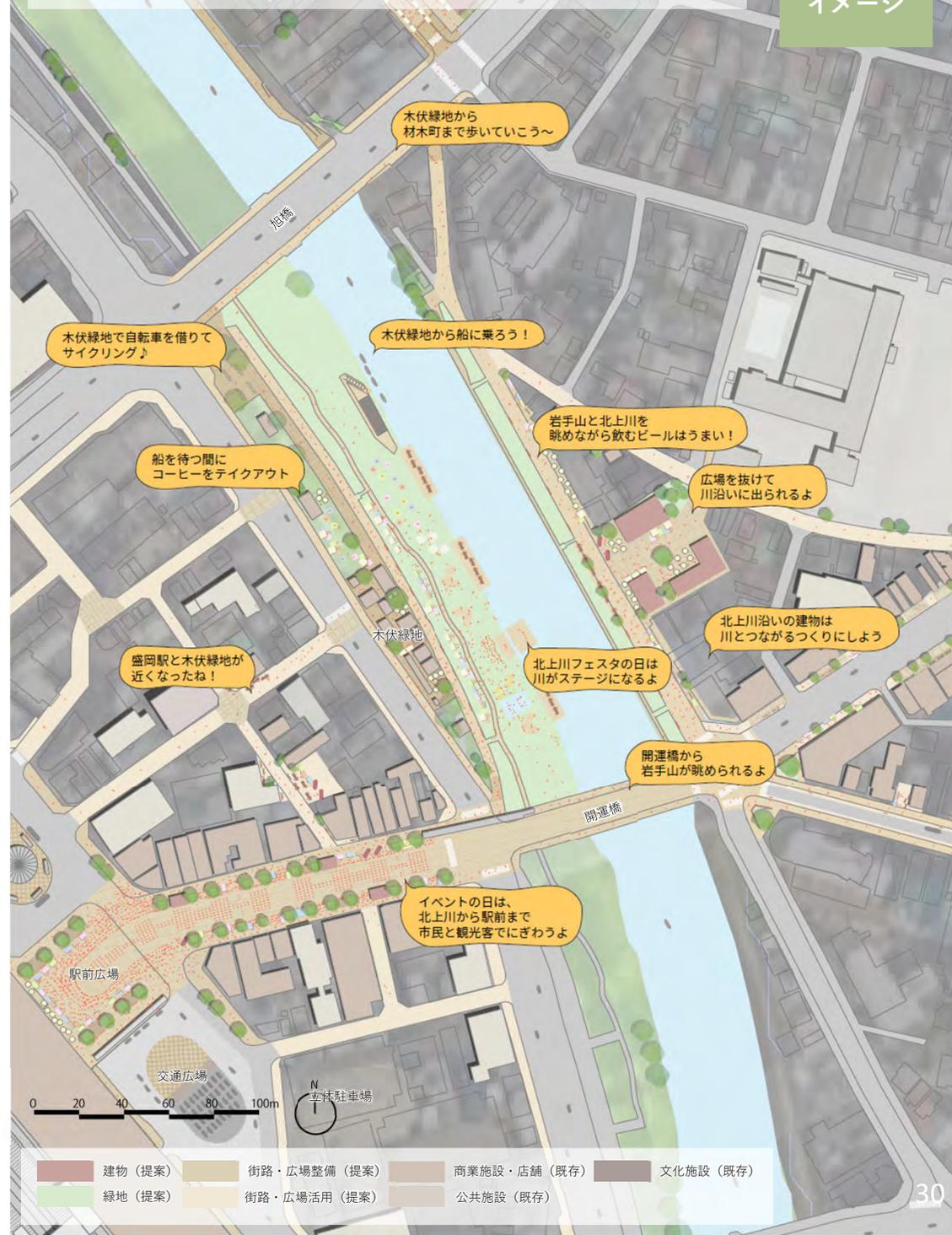


参考事例) 川沿いのオープンテラス
天王洲アイル（品川区）



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

まちづくり
方針の
イメージ



建物（提案）	街路・広場整備（提案）	商業施設・店舗（既存）	文化施設（既存）
緑地（提案）	街路・広場活用（提案）	公共施設（既存）	

■材木町エリアのまちづくり方針（案）

既存の街路整備や光原社をはじめとする個性的な店舗、定期開催されるよ市などを活かし、周辺エリアとのつながりを強化することで、まちなか観光や周遊の目的地となる個性的なエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①材木町と周辺エリアとのつながりの強化（提案）

- 駅前周辺エリア、北上川方面とのつながりを強化するため、更新時期に合わせて、材木町のエントランスにあたる東側入口や旭橋周辺の道路（歩道）整備を検討します。
- ポケットパークや路地の整備検討を含めて、材木町を介して永祥院前の通りと北上川をつなぐ回遊動線の強化を検討します。
- 材木町裏石組の遊歩道へ降りる階段の位置を分かりやすくすることを検討します。

例) 材木町から建物内や路地を通して北上川や武田邸方面へ回遊できるようになります。

ポケットパークは、材木町よ市や酒買地蔵尊例大祭での屋台の出店スペースとして使えます。

- 材木町舟渡しの取組を活かして、船着き場を整備し、鉦屋町等、市内他エリアへ舟運でつなげることを検討します。

例) 鉦屋町などと連携して、お酒や民芸品等の共通テーマでエリア間を巡れるようにすると、舟運を利用した市内の回遊が活発になることが期待できます。

②材木町の魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 鉦屋町や紺屋町など、中心市街地エリア内で過去にまたは今後同じ課題を抱えると想定される他のエリアと情報交換ができる体制を検討します。
- 「材木町よ市」時に活用できるファニチャー、サインの設置や建物の外構やリノベーションをおこない、平日にも材木町を訪れた人がエリア内を回遊したくなる街並み形成を検討します。

参考事例) 木材を活用したリノベーション
clealce（盛岡市）



参考事例) 木材を活用したファニチャー
IKEBUKUROLIVINGLOOP（豊島区）



まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



建物（提案）	街路・広場整備（提案）	商業施設・店舗（既存）	文化施設（既存）
緑地（提案）	街路・広場活用（提案）	公共施設（既存）	

■開運橋エリアのまちづくり方針（案）

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ立地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的な拠点形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化（提案）

- 盛岡停車場線へほこみち制度の適用や、社会実験の実施など、沿道店舗と一体の街路空間の利活用を検討します。
- 開運橋東交差点の橋詰広場の整備・活用など、エリアの拠点性を強化する顔づくりを検討します。

②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 建物やテナントの更新を通して魅力的な店舗が増えるよう、市と組合がまちづくり、商店街振興を共に考えるエリアマネジメント体制づくりを検討します。
- 飲食・物販店舗の出店誘導を検討し、ファッションや音楽関係等個性的な店舗が集積するエリア形成を目指します。
- 既存の取組を活かして、建物の外構やリノベーション、公共空間のファニチャー整備における木材活用を推進し、木材を通じてエリアの個性の強化を目指します。

参考事例) 交差点の広場整備

昭和通り・交差点四隅広場（大分市）



参考事例) 駐車場の利活用

下北線路街空き地（世田谷区）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■大通商店街エリアのまちづくり方針（案）

市内中心部の代表的な商業エリアとして、商店街の道路空間の再配分や歩車共存道路への改良、官民連携を見据えた交差点部の施設整備、周辺街区との連携強化、エリアマネジメント体制の充実等を検討し、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①大通商店街の通りの再整備に向けた検討（提案）

- ・ パーキングメーター廃止に伴う道路空間の再配分や、ストリートファニチャー、パークレットの設置を検討し、社会実験など実現へ向けた取組を推進します。
- ・ 現在一方通行である大通りについて、**道路空間再編**（歩車共存道路の改良）や時間帯通行規制などを検討し、大通りがより歩きやすい通りになることを目指します。

②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討（提案）

- ・ 大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けて、拠点施設と一体となった広場整備や、多様なモビリティの乗り換え拠点となるモビリティハブの設置など、まちなか観光や周遊の新たな拠点形成に向けた検討を進めます。

③周辺街区とのつながりの強化による面的な回遊エリアの形成（提案）

- ・ 大通商店街と南北の街区における、面的な**街路空間利活用**の促進を目指します。
- ・ 建て替え・再開発時に、1階の建物内のにぎわいが見える建物形態の誘導を検討します。

④エリアマネジメント体制の構築と周辺エリアとの連携（提案）

- ・ エリアの将来像の検討・共有や施設更新・テナント調整などを進める**エリアマネジメント**体制の構築を検討します。
- ・ 周辺エリアと連携したイベント開催や公共空間活用の取組の拡大を目指します。

参考事例) 街路沿いの植栽・滞留空間
とおり町ストリートガーデン（福山市）



参考事例) 交差点の拠点形成
銀座ソニーパーク（北九州市）



まちづくり 方針の イメージ



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

■菜園通りエリアのまちづくり方針（案）

ホテルや商業施設が立地し、道路空間再配分による歩行者・自転車空間の充実が検討されている菜園通りにて、街路空間利活用の推進やエリアマネジメントに向けた体制づくりを検討し、駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①菜園通りの道路空間の再配分による歩行者・自転車空間の充実（提案）

- 都心環状道路の整備及び菜園通りの道路空間再配分により、広幅員の歩道や自転車通行帯の整備を検討します。
- 整備検討に当たっては、信号柱や標識等の道路付属物のデザイン等を調整します。

②沿道施設と一体の街路空間利活用の推進（提案）

- 菜園通りでは、沿道施設と一体の街路空間利活用を検討します。
- ホテルや商業施設の新設・改修時に通りと一体のオープンスペースの設置誘導を検討します。
- 商業施設周辺へのモビリティポートの整備を検討し、モビリティハブの形成を目指します。

例) 沿道施設のオープンスペースでのマルシェやチャレンジショップの開催

例) 歩道上にテイクアウト用のカウンターや簡易の自転車駐輪ラックの設置

③エリアマネジメントに向けた体制づくりの検討（提案）

- 沿道施設、テナント等の入れ替えやリニューアル時のまちづくりの観点からみた検討や、道路空間再配分等の公共事業の検討時の、協議主体となる**エリアマネジメント**体制づくりを推進します。

参考事例) 商業施設のオープンスペース
モコプラ（盛岡市）



参考事例) 道路から見える1階部分
SyuRo（台東区）



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

■映画館通りエリアのまちづくり方針（案）

大通り、菜園通り、中央通りを南北につなぐ、盛岡の市民文化の歴史を伝える映画館通りを中心に、映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①映画館通りの再整備に向けた検討（提案）

- 映画館通りの**道路空間再編**（歩車共存道路の改良や道路空間の再配分）、それに向けた社会実験などの実施を通して、歩行者中心の通りへ転換することを目指します。
- 既存のファニチャーを活かして、ファニチャーの改修整備やパークレットの整備を検討します。

例) 映画館通りの特徴や歴史にあった個性あるファニチャーの検討を行います。

②エリアマネジメントによる市民文化を活かしたまちづくりの推進（提案）

- 事務局機能を同じくする、盛岡大通商店街協同組合との連携、まちづくりに向けた協議の推進と**エリアマネジメント**体制づくりを図ります。
- 映画に関わるコンテンツの支援を行い、映画によるまちづくりを推進することを目指します。

例) 映像作家による映画制作の支援や発表の場づくり、学生・子ども向けの映画ワークショップの開催、もりおか映画祭の開催等により、市民が映画に親しむ機会を増やすことができます。

- 映画館と周辺店舗の利用が相乗効果を生む仕組みづくりを検討します。

例) 映画館と飲食店のセット券や映画のテーマに沿ったイベントの開催等。

参考事例) 個性的なファニチャーを設置した事例
元町ショッピングストリート（横浜市）



参考事例) 映画によるまちづくりの推進
飲食・映画鑑賞セット券（盛岡市）



出典：盛岡市HP

まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



もりおか映画祭の日は、まち全体が映画館になるよ！

盛岡ビカテリー

ホテル

ホテル

若手映像作家の映画の上映会！

映画のワークショップに参加してみよう

中央映画劇場

MOSS

MOSS

ストリートライブを聴きながら乾杯しよう～

CLUB CHANGE WAVE

盛岡ゆかりの作品のオブジェがあるよ

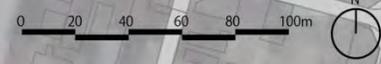
映画館通りのファニチャーは盛岡の歴史にちなんだ特別なデザイン！

盛岡ルミエール

映画のポスター展や映画音楽も楽しめるよ

カワトク

カワトク キューブⅡ



建物（提案）	街路・広場整備（提案）	商業施設・店舗（既存）	文化施設（既存）
緑地（提案）	街路・広場活用（提案）	公共施設（既存）	

■内丸・中央通りエリアのまちづくり方針（案）

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入、人中心の街路空間形成、沿道施設と一体の街路空間利用、中央通りの中津川との接続などの検討を通して、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討（提案）

- 官公庁エリアの再編と足並みを揃え、中央通りの道路空間再配分の検討を通じた、人中心の街路空間の形成を目指します。
- 合わせて、LRT・BRT等の幹線系公共交通の導入の可能性についても協議を進めます。
- 市役所が移設された場合、跡地に中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- 公共施設や事務所ビルの改修時に、中央通り沿いのオープンスペースの再整備や緑化を検討します。

②街路空間利活用＋モビリティハブの整備に向けた検討（提案）

- 中央通りでは、沿道施設と一体の街路空間の利活用を推進します。
- 幹線系公共交通の停車帯と駐輪場や滞留スペースが一体となったモビリティハブの整備を検討します。

③亀が池・鶴が池の水辺空間再整備に向けた検討（提案）

- 亀が池・鶴が池の水質浄化の取組を活かして、亀が池・鶴が池と内丸緑地が一体となったオープンスペースの整備を検討します。

例) 亀が池・鶴が池の周辺で歴史を活かした水辺空間を整備し、コンテナショップやキッチンカーの出店を促進することで、内丸エリアで働く人々が休憩やランチをする場所になることが期待できます。

参考事例) 街路の利活用

日本大通り（横浜市）



参考事例) 公共空間の利活用

横浜美術館（横浜市）



まちづくり方針のイメージ



■櫻山・大手先通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への入り口であった大手先通り、櫻山神社と櫻山界限、亀が池、鶴が池など、風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、本町通り、紺屋町などの各方面へと回遊性をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 大手先通りについて、盛岡城との関係を活かし、**道路空間再配分**及び無電柱化などによる歩行者中心の街路空間の形成を検討します。
- 大手先通りや櫻山横丁では、既存の街路空間利活用取組の拡大を検討し、沿道施設や店舗と一体の**街路空間の利活用**を検討します。

②緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）

- 緑の広場を、中津川や道路に開いた広場に改修することを検討し、まちと中津川とのつながりを強化することを目指します。

③歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）

- 上の橋や掘割の跡等、エリア内に点在する歴史資源を活かした整備を検討し、内丸エリアや本町通り方面への回遊性の向上を目指します。

例) 歴史資源に気づくように旧奥州道中や上の橋、掘割跡にサインを整備するなど。

④歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

- 街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、官民が連携して歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- 櫻山界限の飲食店街の防災面の課題解決と風情あるまちなみの保全について議論を進めます。

参考事例) 歩車道一体の街路整備
神門通り（出雲市）



参考事例) 店先のベンチ・テーブル
Light up coffee（世田谷区）



まちづくり方針のイメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■本町通り・寺町エリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、歴史的な建築物の活用と歩きやすい道づくりを進め、大手先通りから寺町への回遊性をつなげる歴史を活かしたエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①本町通りと寺町へのアクセス強化の検討（提案）

- 本町通りと寺町を自転車や徒歩で移動できるルートの整備を検討します。
- 例) 寺社を活用したコンテンツの創出やまちなかの宿泊施設・レストラン等、エリア全体で目的地となる機能を増やすことにより、歩行者回遊を創出することを目指します。

②リノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- 点在する歴史的な建造物の保存やリノベーション・活用のための体制、仕組みを検討します。
- 例) 歴史的な建造物をリノベーションしたゲストハウスや飲食店の整備

③本町通り・寺町の街並み等の景観ガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備、サイン設置時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討し、歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- ガイドラインの検討に当たっては、大手先通りと連携し、盛岡城の正面の通りとして統一感のある街並みの形成を目指します。

参考事例) 地区全体のライトアップ
たけた竹灯籠 竹楽（竹田市）



参考事例) 建物のリノベーション
FUKADASO CAFE（江東区）



まちづくり
方針の
イメージ



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

建物（提案）	街路・広場整備（提案）	商業施設・店舗（既存）	文化施設（既存）
緑地（提案）	街路・広場活用（提案）	公共施設（既存）	

■紺屋町・葺手町エリアのまちづくり方針（案）

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性的なエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に街並みの景観保全や活用を記した**街並み等のガイドライン**や**地区計画**の作成を検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

②紺屋町の歩車共存道路整備と街路空間利活用の検討（提案）

- 紺屋町の歩車共存道路への転換に向けた社会実験などを通して、交通分析や活用可能性を検討し、**道路空間再編**による、車両速度を抑制した歩きやすい街路の形成を目指します。
- 葺手町こみちの取組を展開し、紺屋町・葺手町における沿道施設と一体の**街路空間利活用**の面的な展開を検討します。
- 紺屋町番屋周辺にポケットパークやモビリティポートを整備し、回遊拠点の形成を検討します。
- 旧井弥商店周辺の再整備や民間開発と合わせて、紺屋町のエントランスの形成を検討します。

例) 欧州アンチック市や工芸品や雑貨のポップアップショップとしてオープンスペースを活用

③中津川とのつながり強化と歴史資源の活用の検討（提案）

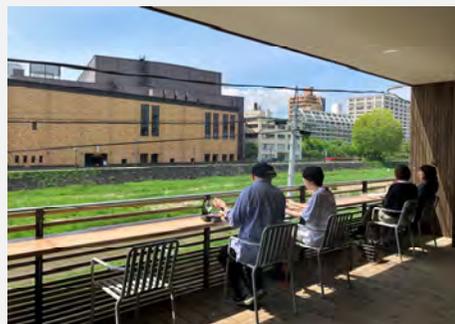
- 敷地内を通り抜けて紺屋町と中津川を行き来できる建物形態の誘導を検討します。
- 紺屋町と葺手町をつなぐ路地の整備を検討し、歩行者の回遊促進を目指します。
- 歴史的建造物・レトロな建物を活かし歴史のある建造物の活用・周知を推進することを検討します。

例) 歴史的建造物の公開・周知イベントの開催により、市内外にまちづくりを発信することができます。

参考事例) 歩車道一体の街路整備
本町通り（竹原市）



参考事例) 川に向けたテラス
minä perhonen koota joki（盛岡市）



まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■中津川エリアのまちづくり方針（案）

盛岡の地域資源である中津川を活かしたまちづくりに向け、川沿いに連続したオープンスペースの整備や、民間の水辺利活用の促進を通して、水辺景観の保全と、川とまちが一体となり四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的で親水エリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出（提案）

- 市役所が移設された際には、中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- エリア内の駐車場機能の再配置などの協議を通して、中津川に面した公共空間を創出し、水辺を楽しむ川沿いのオープンスペースの整備と水辺空間の利活用促進を検討します。

例) いわぎんりーす駐車場敷地（なかのはし1-1ひろば）に常設の広場を整備すると、川沿いを楽しむ拠点になるとともに、放課後の小学生の遊び場や肴町商店街のイベントスペースとしての活用ができます。

②オープンスペースをつなぐ中津川沿いの遊歩道の検討（提案）

- 中津川沿いのオープンスペースをつなぎ、回遊性を高めるため、中津川沿い遊歩道の再整備などの水辺空間の形成を検討し、合わせて歴史・自然資源や河川敷に降りる階段の位置を紹介するサインの設置等を提案します。

③中津川沿い(上の橋～毘沙門橋)の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に参照される、景観計画を補完する街並みの景観保全の内容や、その活用を記した街並み等のガイドラインや地区計画の作成を、官民の協働で検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

参考事例) 川沿いの親水空間
源兵衛川@横浜市



参考事例) 川沿いのオープンテラス
元安川のオープンテラス@広島市



まちづくり方針のイメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



建物（提案）	商業施設・店舗（既存）
緑地（提案）	公共施設（既存）
街路・広場整備（提案）	文化施設（既存）
街路・広場活用（提案）	

■肴町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）

- 肴町商店街アーケード内で、滞留スペースの設置による住民や観光客の居場所づくりを目指します。
- 例) 既存のベンチプロジェクト等の取組を活かして、KITENEのDIYスペースを活用したファニチャーを増やしていくことで、子育て世代や高齢者の日常的な居場所となることが期待できます。

②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）

- 商店街アーケード内の歩道や空き店舗を活用したチャレンジショップなどの取組の可能性を検討し、新規店舗の出店誘導を目指します。
- 例) アーケード南側でチャレンジングな店舗の入居を促進することで、アーケード北側との差別化が図れます。

③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

- 商店街アーケード周辺の建物・オープンスペースのリノベーション・活用の誘導との連携を検討し、周辺エリアとのつながりの強化を目指します。
- 例) アーケード南側の建物（亀半本館等）のリノベーションにより、鉈屋町までの歩いて楽しい回遊ルートの形成が図れます。また、賜松園緑地の一般開放や御幸小路等の路地の高質化により、八幡町エリアとの面的な回遊を生むことが期待できます。

参考事例) 小商いの出店誘導
ロッカパッチ（横浜市）



参考事例) アーケードと広場の改修
大街道商店街（松山市）



まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■八幡通りエリアのまちづくり方針（案）

八幡通りは、町家が並ぶ盛岡八幡宮の参道であり、既存の街路整備やまちづくり団体の取組がみられます。町家リノベーションの展開や街並み等のガイドラインの作成による街並み景観や夜間景観の創出、周辺エリアとのつながりを生むモビリティの強化など、歴史性を活かしたエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①町家を活かしたりノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- まちづくり団体による町家を活かしたりノベーションの取組を面的に拡大するため、歴史的建造物や町家の保存活用のための体制、仕組みを検討します。

②周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮・鉈屋町・清水町へのアクセス強化を検討します。

③八幡通りの街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討します。

参考事例) 神社参道の景観形成
神門通り（出雲市）



参考事例) 通りを生かした祭り
おわら風の盆（富山市）



■下ノ橋町・清水町エリアのまちづくり方針（案）

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源が点在しているほか、今後、病院の建て替え・跡地活用等の民間施設の新設・更新が見込まれるエリアです。民間施設と連携して、住民が日常的に気軽に訪れ、観光の中継地点となる小さな目的地を増やすことにより、大通商店街方面と鉦屋町方面への回遊をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①民間施設の一部を活用した拠点づくりの検討（提案）

- 既存の病院の建て替えと連携して、病院機能の一部を有する地域に開いた施設を整備することにより、地域住民や観光客が気軽に立ち寄れる拠点を設けることを検討します。
- 既存の病院の建て替え時に、駐車場の一部にもパブリックスペースを設け、南昌荘や旧石井県令邸へ抜ける動線を確保することで、アクセスを強化することを検討します。
- 敷地の一部へのパブリックスペースの設置など、**良好な開発を誘導**することを検討します。

例) 病院の建て替え時に、病院の食堂や更衣室と地域に開いたカフェを併設することで、地域住民や観光客の回遊の拠点となり、大通り・菜園方面と鉦屋町間の回遊が活発になることが期待できます。

②エリア内外と連携した地域資源のPRの検討（提案）

- 下ノ橋エリアの点在する地域資源を中心市街地の回遊ルートの拠点に位置付けるため、エリア内外の地域資源と連携してPRすることを検討します。

例) 市内の庭園（武田邸、賜松園緑地、南昌荘）めぐり、展覧会めぐり等をセットでPRすることで、下ノ橋エリアの地域資源を中心市街地エリアの回遊に位置付けることができます。

③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮や鉦屋町とのアクセスの強化を検討します。

参考事例) 事務所・飲食店の複合施設
ヒグマドーナツ（港区）



参考事例) 集合住宅敷地内のパブリックスペース
ののあおやま（港区）



まちづくり 方針の イメージ



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

■鉈屋町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な街並みの形成・保全・活用に関する既存の取組が進められており、部分的な不動産の流動化も進んでいるエリアです。今後はこれらの街並み景観を活用した観光拠点の形成を進めるとともに、周辺エリアとのつながりを強化し、中心市街地の回遊ルートに位置付けることを目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①既存建物を活用した観光拠点の形成の検討（提案）

- 既存の取組を活かして**歴史的建造物（徳清倉庫等）**や**庭園を活用し**、観光の拠点づくりを目指します。

②広域の回遊ルート形成に向けた検討（提案）

- 鉈屋町北側の建物の**リノベーション・活用**を推進し、肴町方面との回遊性を高めるとともに、馬車やポンネットバスなど**個性的なモビリティの運行**による周辺エリアへとのつながりの強化を検討します。
- 盛岡を代表する個性的なエリアである材木町と鉈屋町を結ぶ、舟によるモビリティを検討します。

参考事例) 酒蔵を活用した飲食店
上野桜木あたり（台東区）



参考事例) 文化財を利用したミュージアム
武相荘（町田市）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



4. 今後に向けて

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応 (案)



※市として喫緊の課題を抱えているエリア、民間の活動連携の熟度が高まっているエリアについて文字を濃くしています。

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応（案）

	方針と地域側の状況	当面の対応	
菜園通りエリア #機能の誘導 #公共空間の充実	百貨店やホテルなどへの歩行によるアクセスが多いことや、アパレルなどの買い回り品を扱う店舗が多いため、更新ルールを作り、エリア全体で沿道機能を充実することが望ましいが民間に確たる協議対象がない。	喫緊の課題とはいえないが、沿道店舗の入れ替えやリニューアルの際に、必要機能を見定めることや公共側も道路空間の再配分を検討・協議する対象として、民間側の協議対象を明らかにすることから始める。	民間側の協議対象者の把握
映画館通りエリア #商店街の維持と更新 #商店街のルール #エリアマネジメント	映画館が集積したエリアの形成過程を踏襲し、テーマ型のまちづくりを推進するべく、必要なハード・ソフトコンテンツの充実を図り、歩いて楽しめる街路形成を目指す。現状は商店のほか、企業や金融機関などの業務系も混在している。	商店街組織の事務局機能は盛岡大通商店街協同組合と兼任であり、民間側は大通と連動した動きとなると考えられる。現状、建物用途を規制的に誘導することはできないため、テーマ型まちづくり提案に対する民間側の意向確認と方針策定から始める。	民間の意向確認とまちづくり方針に関する協議
内丸・中央通りエリア #公共施設の再編 #道路空間の再配分 #エリアマネジメント	市を中心として、ステークホルダーと共に検討が進められている官公庁エリアの再編に併せ、広幅員の中央通りの道路空間再配分を行い、人中心の街路空間を形成することが望ましい。	既に進められているエリア再編の検討と並走し、事業開始後のタイムラグを生じないように、より良い空間形成のための方針についても検討を進めていくことが望ましいと考えられる。	エリアの再編と並行した検討
櫻山・大手先通りエリア #歴史的な街並みの保全 #防火・防災 #エリアリノベーション	櫻山神社と櫻山界限を中心に、盛岡の歴史を今に残すエリアであり、それら資源を活用した回遊性の創出を目指すことが望ましいが、櫻山界限の飲食店街は史跡内であり、今後の在り方については、地元住民と合意形成を図りながら検討する必要があるが、防災面では延焼の危険性が高いなど喫緊の課題がある。	櫻山界限の機能と景観の維持については長年、取り沙汰されているが、法制度面でも資金確保面でも難しい課題といえる。現状は不動産オーナーと利用希望者との個別案件であるため、東大通商業振興会などとの協議により、エリアの将来を見据えた方針の共有と自分ごと化を進める必要がある。	建物更新のルールと主体の把握
本町通り・寺町エリア #歴史的な街並みの保全 #リノベーション #景観に関するルール	歴史性や資源の集積性を鑑みると、散策や回遊のための環境整備が望ましい。また、三ツ割や松園方面の自動車往来が多いため、歩車の共存に課題がある。	地域資源とポテンシャルに対する評価、及び誘客や回遊を促進することに関する地域側ニーズを把握するため、意見交換の対象となる方を明らかにする。	民間側の協議対象者の把握
中津川エリア #水辺空間の利活用 #パブリック インボルブメント	河川敷地の多い中津川の特徴を活かし、景観的な魅力と利用しやすさを兼ね備えた水辺空間の形成を目指すとともに、河川景観を維持するための指針が必要であると考え。既に河川敷地を活用する取組を手掛ける活動団体等が存在する。	既に民間による利用や河川敷地のボランティア管理などが行われている状況にあり、余地性の高いエリアでもあることから、喫緊度は高くないため、既存の活動団体等と今後の空間利用と管理に関する協議や計画策定の検討を進める。	民間活動主体の意向確認とルール化

※市として喫緊の課題を抱えているエリア、民間の活動連携の熟度が高まっているエリアについて文字を濃くしています。

(1) エリアごとの方針と地域の状況を踏まえた、当面の対応 (案)



※市として喫緊の課題を抱えているエリア、民間の活動連携の熟度が高まっているエリアについて文字を濃くしています。

(2) 実現化方策

道路空間再編・道路空間利活用

道路空間再編や利活用の推進に向けては、利活用の実施主体となる商店街組合等の民間側の意向を踏まえて官民が連携して検討を進めていくため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

駅前通りエリア、材木町エリア、大通商店街エリア、菜園通りエリア、映画館通りエリア、内丸・中央通りエリア、櫻山・大手先通りエリア、紺屋町・葺手町エリア

■想定される手法

- 「まちなかウォーカーブル推進事業」の活用による道路空間の再編
 - ：都市再生整備計画区域内に「滞在快適性等向上区域（まちなかウォーカーブル区域）」を設定することで、道路空間を再編し、歩行者中心の空間への転換を図る。
- 「歩行者利便増進道路（ほこみち）制度」の適用による道路の利活用の推進
 - ：歩道等の中に歩行者のにぎわい・滞留空間を定めることで道路の利活用を推進する。
- 「道路協力団体制度」や「都市再生推進法人制度」の活用による道路の維持管理体制確立
 - ：道路占有を通じたオープンカフェや物販施設の設置による収益を、道路環境の維持向上に還元する。
- 地元協議会の組織による官民連携した事業の推進
 - ：地元協議会与行政が連携し、地域全体として実施したい取組であることを強調することで、交通管理者をはじめとした関係者協議をスムーズに進める。

■盛岡市内の実績

- 歩行者利便増進道路の指定（「市道盛岡駅前通線」、令和3（2021）年）
- 歩行者天国のイベント実施（「もりおか駅前 開運ホコテン」、令和5（2023）年・令和6（2024）年）
- 「居心地が良く歩きたくなる」まちなか形成に向けた調査（岩手県立大学総合政策学部、令和5（2023）年・令和6（2024）年）



■参考事例 駅前広場の歩行者空間化（大阪市なんば）

- 民間発意から官民連携のプロジェクトに展開
 - ：平成23（2011）年に地元町会や商店街、周辺企業等で構成される「なんば安心安全にぎわいのまちづくり協議会」を設立。平成27（2015）年に地元協議会から大阪市に、検討組織の参画について要請し、官民合同で組織する「なんば駅前広場空間利用検討会」を立ち上げた。
- 御堂筋やターミナル周辺も含むバス・タクシー・荷捌き車等の大規模交通再編
 - ：御堂筋からの車両侵入禁止とバス・タクシー等の交通機能の再配置を行うことで、駅前広場は24時間歩行者専用の空間とした。空間再編後の道路線形を具現化した社会実験を実施し、交通荷さばきの運用や安全性、歩行者空間の利活用の検証をした後、整備を行った。

水辺空間の形成・水辺空間の利活用

「盛岡地区かわまちづくり計画」に基づく既存の取組の更なる展開や、水辺に面した民間開発との連携、北上川・中津川の連携強化に向けて、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

北上川エリア、中津川エリア

■想定される手法

- 「都市・地域再生等利用区域」の指定による水辺空間の利活用の推進
 - ：行政から要望を受けた河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定し、民間事業者による河川の占有を可能とすることで、水辺空間の利活用を推進する。
- 民間事業者と連携した「かわまちづくり計画（第二期）」の策定
 - ：都市・地域再生等利用区域の占有主体や、河川区域内や隣接する土地で施設整備を行う民間事業者と連携してかわまちづくり計画を策定することで、北上川・中津川に面した施設の新設・更新に合わせて、水辺の遊歩道や広場の整備を推進する。

■盛岡市内の実績

- 盛岡地区かわまちづくり懇談会の実施（平成22（2010）年～）
- 盛岡地区かわまちづくり勉強会の実施（平成23（2011）年～）
- 「盛岡地区かわまちづくり計画」の策定（平成29（2017）年）
- 北上川における舟運の運航（平成29（2017）年～）
- 公募設置管理制度（P-PFI）を活用した木伏緑地の整備（令和元（2019）年）
- かわまち大賞の受賞（令和4（2022）年）
- 都市・地域再生等利用区域の指定に関する議論（令和5（2023）年12月盛岡地区かわまちづくり懇談会）
- 北上川・中津川における各種イベントの実施



■参考事例 水都大阪（大阪府・大阪市）

- 水辺空間の一体的なブランディング
 - ：大阪府、大阪市、経済界、観光局、舟運団体、学識者で構成される「水都大阪コンソーシアム」を組織し、大阪を「水の都」堂島川・東横堀川・土佐濠川、道頓堀川・木津川等、複数の水辺空間を「水の回廊」としてPR。公募で選定された民間事業者が「都市・地域再生等利用区域」を包括的に占有し、多様なイベントを実施している。

(2) 実現化方策

歴史的建造物の保存活用・リノベーション

盛岡市内では、景観地区に指定されている大慈寺地区を中心に町家等の歴史的建造物の保存・活用の取組が行われています。各エリアに点在する、街並みに資する建物の保存・活用を進めるため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

本町通り・寺町エリア、紺屋町・葺手町エリア、八幡通りエリア、鉈屋町エリア

■想定される手法

- **街並み環境整備事業の活用による、建物の修景や街路・広場の整備**
：街並み環境整備促進区域に指定された区域のうち、区域内の土地所有者等によるまちづくり協定が締結されている地区で、住宅等の修景や歴史的建造物の改修、公共施設の整備等に助成を行う。
- **市独自の条例等の制定による街並みに資する個別の建物の保存・活用の促進**
：個別の建物や区域を指定し、支援の充実（改修費用の補助等）や所有者への義務付け（解体の1年前までの解体届の提出等）を行うことで、歴史的な建造物の維持継承を図る。
- **町家バンクの設置による売買・賃貸のマッチング**
：町家バンクにより歴史的建造物の所有者、居住希望者、利活用を希望する事業者、専門家をマッチングし、歴史的建造物の利活用を推進する。

■盛岡市内の実績

- 盛岡市歴史的街並み保存活用基本計画の策定（平成20（2008）年）
- 歴史的町並み整備事業補助金制度による歴史的建造物の修理や修景への補助金の交付（平成20（2008）年～）
- 街並み環境整備事業（平成21（2009）年～）
- 大慈寺地区地区計画の策定（平成24（2012）年）
- 市民協働推進事業（まちづくり施設整備事業）による町家等の修理活用（平成24（2012）～平成26（2014）年）
- 大慈寺地区景観地区の指定（平成28（2016）年）
- 盛岡市景観計画の策定（平成30（2018）年）
- 紺屋町番屋の改修・活用事業（令和4（2022）年）
- 盛岡まち並み塾によるクラウドファンディング（令和7（2025）年～）



■こまちなみ保存条例による歴史的な街並みの保存（金沢市）

- **指定したエリア内の建築行為に関する届出・指導制度**
：「こまちなみ保存区域」を指定し、それぞれの区域ごとに、建築行為を行う場合のこまちなみの特徴に応じた留意点として「こまちなみ保存基準」を定める。一定の建築行為を行う際の届出及び助言、指導又は勧告についても定めている。
- **登録した建物への技術・財政的な援助**
：保存区域の特徴を良くとどめる建物等を、所有者の同意のもとに「こまちなみ保存建造物」に登録して、地域にも周知する。修理や修景に対して技術的な援助や財政的な援助を行っている。

店舗の出店誘導

エリアの特色に合わせた店舗の出店誘導を行い、各エリアの個性を強化するため、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

駅前通りエリア、開運橋エリア、肴町エリア

■想定される手法

- **出店希望者とエリアのマッチング**：不動産業者との連携により、エリアの個性に合わせた店舗の出店を誘導する。
- **まちづくり協定による出店者の業種・業態の誘導**：商店街等がまちづくり協定を策定し、出店してほしいまたは出店を断る業種・業態を明確にすることで、業種・業態を誘導する。

■盛岡市内の実績

- 大規模小売店舗立地法特例区域の指定による、大規模小売店舗の新規立地や既存店舗のリニューアルの促進（平成22（2010）年）
- 商店街振興事業（盛岡市「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」）
- 街なか出店等促進事業（盛岡市「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」）

■参考事例 出店者エリアマッチング支援事業（岡崎市）

- **出店希望者に対するエリア情報の提供により、まちにとってもプラスになる出店を誘導**：出店コーディネーターが、エリアの特徴を踏まえて、エリアのニーズに合わせた店舗を誘致するとともに、出店希望者に対してエリアの商圏・客層・付近の競合等の情報を提供し、具体的な出店のイメージを提示。

良好な開発の誘導

建物の新築・更新時に、街並みに資する良好な開発を誘導できるよう、下記の手法の適用を検討します。

■想定される対象エリア

中心市街地全域

■盛岡市内の実績

- 優良建築物等整備事業（平成3（1991）年～）

■想定される手法

- **優良建築物等整備事業の活用による良好な開発に対する補助**：一定規模以上の空地を確保した事業に関する補助
- **建築協定による街並みの連続性の確保**：土地所有者等が、建築物の位置や形態・色彩に関して建築協定を定めることで、街並みの連続性を確保する。

■参考事例 まちなか建て替えスタートアップ事業（北九州市）

- **ウォークラブルなまちづくりに資する新築事業に対する補助**：対象区域内の新築を行う事業で、1階部分のセットバックを行うものやオープンスペースを設けるものに対して、オープンスペースの面積に応じた助成を行う。

(3) 今後のスケジュール

今後のスケジュールは下記の通りです。

年度	令和6年度	令和7年度
中心市街地 デザイン戦略	デザイン戦略素案作成	デザイン戦略成案作成 7月-8月常設展示 11月 市民フォーラム 成案策定 以降、随時更新 反映
各種個別事業		まちづくりのルール化（景観条例・中高層条例の改正） 紺屋町のまちづくりのルール化（景観条例・中高層条例の改正） 9月 改正条例公布 4月 改正条例施行
	都市再生整備計画の作成	都市再生整備計画事業（盛岡中心市街地地区）の実施

※スケジュールは現時点のものです。今後変更する可能性があります。